

# FMV-BIBLO

MC 23

FMV-BIBLO

# 情報 生活術 入門

BIBLOを  
持って  
外に出よう



節電機能を使う

パソコンを電話回線に接続する

インターネットを利用する

外出先でインターネットを使う

他のパソコンとデータを交換する

アプリケーションを使う

豆知識

索引

FUJITSU



.....  
本パソコンには次の4冊のマニュアルが用意されています。  
目的に応じてお読みください。  
.....

### 『安全上のご注意』

本パソコンを安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。  
本パソコンをお使いになる前に必ずお読みください。

### 『本体&オプションガイド』

本パソコンを初めてお使いいただくときに必要な操作と、添付品やオプション機器の使いかたなどについて説明しています。本パソコンをお使いになる前、または必要なときにお読みください。

### 『リカバリガイド』

本パソコンを購入時の状態に戻す方法と、アプリケーションやドライバを再インストールする方法について説明しています。必要なときにお読みください。

### 『情報生活術入門』

本書のことです。  
本パソコンを使いこなすためのヒントを紹介しています。本パソコンを外に持ち歩く場合、屋内で使う場合など、いろいろなシーンにあわせてお読みください。  
.....

## ごあいさつ

FMV-BIBLO MC 23は、Windows98を搭載した、小型、軽量のパソコンです。出張や旅行などにも手軽に持ち歩け、いつでもどこでも、ご自分の情報空間を広げることができます。



本書では、本パソコンにインストールされたソフトウェアの操作方法や、使いこなしのヒントについて説明しています。

なお、本書は、Windows98の基本的な操作をご存知の方を対象として、本パソコンをご購入になったときの設定状態に従って記述しています。


# 本書の表記について

## 【安全にお使いいただくための絵記号】

下の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えらるるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。


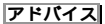



 <b>警告</b>	 <b>注意</b>
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵(左の例の場合は感電注意)が示されています。

## 【その他の記号について】

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	知っている便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	覚えていただきたい用語を解説しています。パソコンを初めてお使いになる方はぜひお読みください。
	ご覧になっていただきたいマニュアルや、参照先を記述しています。

## 画面例および入力例について

- ・表記されている画面は一例です。画面が若干異なる場合があります。
- ・お客様に入力していただく文字列(コマンドライン)などは、入力例の文字上に■をかけて表しています。
- ・特に指定がない場合、英数字、記号は半角で入力します。また、大文字と小文字の区別はありません。入力時に空白を入れる必要がある場合は、以下のように表しています。

dir c:

この場合は、「dir」と入力したあとに  を1回押し、続けて「c:」と入力してください。

- ・表示されている画面例は、1999年1月現在のものです。

## 製品の呼びかたについて

製品名称を、次のように略して表記しています。

製品名称	本書での表記
Microsoft® Windows® 98 operating system	Windows98
Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V	MS-DOS
Microsoft® Internet Explorer 4.01	Internet Explorer
Microsoft® IME 98	MS-IME98
TranXit® Version 3.0	TranXit
10円メールマスター Ver.2	10円メールマスター
Intellisync® for Notebooks	Intellisync
VirusScan for Windows 95/98	VirusScan
Personal Intelligence Manager	PIM

## 機種名の表記について

FMV-BIBLO MC 23を、本パソコンと表記しています。

# 目次

マニュアルの読み方	
ごあいさつ .....	i
本書の表記について .....	ii
本書の構成 .....	viii

## 第1章 節電機能を使う 1

作業を中断するときの終わりがた・始めかた .....	2
一時停止(サスペンド)休止(Save To Disk)終了の3つの終わりがた ...	2
ディスプレイや状態表示LCDの状態にあわせて開始する .....	4
節電機能とバッテリーの残量アラーム機能の設定 .....	5
節電するための機能と設定 .....	5
節電状態から自動的に元の状態に戻す .....	7
バッテリー残量を確認する .....	8
バッテリー残量低下時のアラームの設定 .....	9

## 第2章 パソコンを電話回線に接続する 11

インターネット:こうすれば使える .....	12
InfoWeb(プロバイダ)を利用する場合 .....	12
他のプロバイダを利用する場合 .....	13
電話回線に接続するには .....	14
室内の電話回線に接続する .....	14
携帯電話やPHSを接続する .....	14
公衆電話に接続して通信をする .....	16

## 第3章 インターネットを利用する 19

FMV-BIBLOでインターネット .....	20
世界中のパソコンをつなぐインターネット .....	20
インターネットで利用できるいろいろなサービス .....	21
InfoWeb(プロバイダ)でインターネットを利用する .....	23
InfoWebの無料体験サービスを利用するとき .....	23
InfoWebに加入してインターネットを始める .....	23
すでにInfoWebに加入しているときは .....	23
他のプロバイダでインターネットを利用する .....	24
他のプロバイダに加入するときは .....	24
すでに他のプロバイダに加入しているときは .....	25
インターネットへの接続設定を調整する .....	35

ホームページを表示する .....	41
Internet ExplorerとOutlook Expressのアイコンを表示 .....	41
Internet Explorerでインターネットに接続する .....	41
オフラインでホームページを表示する .....	44
インターネットとの接続を切る .....	44
ミニ情報:Internet Explorerを活用する .....	45
各ボタンの働き / ボタンを全部表示する / ホームページの表示画面を大きくする / ページの表示を最新にする / 「戻る」ボタンで戻れないのは / 一気に戻るには .....	
ホームページを探す .....	47
ホームページの保存と印刷 .....	48
ミニ情報:ホームページを活用する .....	51
ホームページのデータを文書などに貼る / 必要な範囲を印刷する / ページの表示を早くする .....	
Eメールを利用する .....	52
初期設定を変更する .....	52
メールを作って送る .....	54
メールを受け取る .....	58
ミニ情報:メールを活用する .....	62
アドレス帳にアドレスを登録 / アドレス帳で送信先を選択 / 受信後もメールをサーバーに残す / メールに自分の署名を入れる / 一度に複数の相手に送る / ファイルを添付する / 添付されたファイルを見る .....	
インターネットに接続できないときは .....	65
モデムと所在地情報の設定の確認 .....	65
インターネットへの接続設定の確認 .....	66

## **第4章 外出先でインターネットを使う** 69

外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定 .....	70
InfoWebを外出先で利用する .....	70
他のプロバイダを外出先で利用する .....	71
外出先や携帯電話で接続する .....	73
専用の接続設定を使って接続する .....	73
外出先からInternet Explorerで接続する .....	76
Internet Explorerで接続できるようにする .....	76
Outlook Expressで接続できるようにする .....	77

<b>第 5 章 他のパソコンとデータを交換する</b>	<b>7 9</b>
Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする .....	8 0
Intellisyncの使用に必要なハードウェア .....	8 0
標準モード( IrDA )で赤外線通信を行うときは .....	8 2
データ転送が行えるように設定する .....	8 3
Intellisyncの制限事項 .....	8 6
Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする .....	8 7
<b>第 6 章 アプリケーションを使う</b>	<b>8 9</b>
アプリケーションのご紹介 .....	9 0
コンピュータウイルスを検査し除去する( VirusScan ) .....	9 2
コンピュータウイルスとは .....	9 2
VirusScanの働き .....	9 2
VirusScanご利用時の注意 .....	9 3
10円メール( 携帯電話専用 )を使う .....	9 5
10円メールとは .....	9 5
10円メールを使う前の準備 .....	9 5
メールを送信する .....	9 8
メールを受信する .....	1 0 0
アプリケーションのインストールと削除 .....	1 0 2
アプリケーションをインストールする .....	1 0 2
アプリケーションを削除する .....	1 0 6
<b>第 7 章 豆知識</b>	<b>1 0 7</b>
ハードディスクを使いやすくする .....	1 0 8
ハードディスクに異常がないか調べる( スキャンディスク ) .....	1 0 8
不要なファイルを自動検出して削除する( ディスククリーンアップ ) .....	1 0 9
操作の環境をよくする .....	1 1 1
ミニ情報: 画面を見やすくする .....	1 1 1
マウスポインタを見やすくする / 文字を大きく表示する	
ミニ情報: 操作方法を変える .....	1 1 3
Webページを表示しない / ファイルの実行をダブルクリックで / 画面もクリック方法も従来のスタイルにする	



マルチメディアファイルを楽しむ .....	114
スピーカーの音量を調整する .....	114
マイクを使って録音する .....	115
ミニ情報:マルチメディアファイルを楽しむ .....	116
音や画像のファイルを開く	
よくある操作を楽にする .....	117
ミニ情報:特殊な文字や記号を入力する .....	117
読みのわからない漢字を手書き入力する / 記号を入力する / (チルダ)を入力する	
ミニ情報:ファイルを探して中を見る .....	118
フォルダの階層関係を表示する / ファイルを探す / フォルダ内のファ イルの並び替え / テキストや画像を見る / 画像やインターネット文書 を見る / ファイルを速く開く / 右クリックメニューの「送る」でファ イルを開く	
索引 .....	121

# 本書の構成

<b>節電機能を使う</b>	本パソコンを携帯して使用するときを活用したい節電方法や作業の中断・再開方法を説明しています。
<b>パソコンを電話回線に接続する</b>	本パソコンで通信するときの、室内の電話回線、携帯電話、公衆電話への接続と設定方法を説明しています。
<b>インターネットを利用する</b>	インターネットのホームページを見たり、Eメールをやりとりする方法などについて説明しています。
<b>外出先でインターネットを使う</b>	外出先や携帯電話からのインターネットへの接続方法を説明しています。
<b>他のパソコンとデータを交換する</b>	Intellisyncなどを利用して、本パソコンと他のパソコンとでデータをやりとりする方法を説明しています。
<b>アプリケーションを使う</b>	本パソコンに添付されているアプリケーションの概要や、他のアプリケーションのインストール方法について説明しています。
<b>豆知識</b>	ハードディスクの効率的な使用方法など、本パソコンを使ううえで参考になる情報を記述しています。
<b>索引</b>	必要な情報がすぐに見られるよう、索引をご用意しています。

# 第 1 章

## 節電機能を使う

本パソコンは、バッテリーだけでも使うことができますが、バッテリーで使用できる時間には限りがあります。使っている途中でバッテリーが切れて、大切なデータをなくしてしまわないように、節電に心がけましょう。この章では、バッテリーの節電方法について説明します。

セットアップを済ませた  
ピブ朗君、さっそくBIBLOを  
カバンにつめ込んで  
彼女とデート...

こんなに小さい  
パソコン買ったん  
だよ。外でも  
使えるんだ。

こうやって...  
あ、あれっ

ばっ  
た  
り  
が...

どうし  
たの?

あらっ？、充電してこなかったのでしょうか？  
せっかく自慢しようと思ったのに台なしですね。

この章では、次の内容を説明しています。

- ・作業をしばらく中断しておく方法( ●▶ P.2 )
- ・中断する前の状態にすばやく戻る方法( ●▶ P.4 )
- ・何も操作をしないときに自動的に節電する方法( ●▶ P.5 )
- ・節電状態から元に戻る方法( ●▶ P.7 )
- ・バッテリー残量が少なくなったら知らせてもらう方法( ●▶ P.9 )

# 作業を中断するときの 終わりかた・始めかた



操作を終わるときは、現在行っている作業の状態をそのまま残して、パソコンを一時停止や休止の状態にしておくことができます。

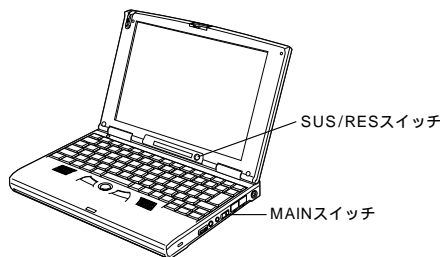
ここでは、節電したりスピーディに作業が再開できるように、操作の終わりかたと始めかたを説明します。

## 一時停止(サスペンド)、休止(Save To Disk)、終了の3つの終わりかた

本パソコンでの操作の終わりかたには、一時停止(サスペンド機能)、休止(Save To Disk機能)、終了の3つの方法があります。

作業の中断方法の比較 (中断前の状態に戻すときの早さ)

サスペンド(一時停止)状態	一番早い
Save To Disk(休止)状態	2番目に早い
Windows98を終了した状態	Windows98の起動からやり直すことが必要



## 現在の状態をメモリに保存して一時停止する(サスペンド機能)

使用しているアプリケーションなどをそのままにしておいて、操作を中断します。

サスペンド(一時停止)とは

- 現在の作業状態がメモリに保存されて、電力消費の少ない一時停止の状態になります。これをサスペンド状態といいます。Windows98の画面では「スタンバイ」という言葉で表示されます。
- サスペンドすると、画面は真っ暗になり、ハードディスクなどメモリ以外の大部分の装置は動作を停止します。

サスペンドとレジューム(復帰)

- サスペンドにするときは、SUS/RESスイッチを押します。

- 再開するときも、SUS/RESスイッチを押します。すぐに、サスペンドにする前の状態に戻ります。
- サスペンドする前の状態に戻ることをレジューム(復帰)といいます。

## 現在の状態をハードディスクに保存して休止するセーブトゥディスク(Save To Disk機能)

使用しているアプリケーションなどをそのままにしておいて、操作を中断します。

Save To Diskでの休止とは

- 現在の作業状態がハードディスクに保存されて、電源を切った休止状態になります。
- この働きを「Save To Disk」機能といいます。
- 休止すると電力を消費しません。MAINスイッチをOFFにすることもできます。

休止(Save To Disk)とレジューム

- 休止するときは **[Fn]** を押しながら SUS/RES スイッチを押します。
- 再開するときは SUS/RES スイッチを押します。少ししてから、休止する前の状態に戻ります。
- 休止する前の状態に戻ることもレジューム(復帰)といいます。

## Windows 98 を終了する

使用中のアプリケーションをすべて終了した後、Windows 98 を終了します。

操作を再開するときは、電源を入れて Windows 98 を起動することから始める必要があります。

Windows 98 を終了する操作を行うと、本パソコンの電源が自動的に切れます。

### コラム

サスペンド状態にしていられるのは

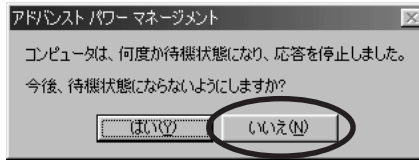
- バッテリーだけで使用している状態では、バッテリーを使いきるとメモリに保存した作業状態が失われます。サスペンド状態にしておくのは、バッテリーを使いきるまでです。
- AC電源に接続していれば、メモリの内容は常に維持されるので、いつでも一時停止する前の状態に戻せます。

休止(Save To Disk)状態にしていられるのは

Save To Disk機能では、作業状態をハードディスクに保存します。そのためバッテリー切れになってもAC電源を接続すれば、休止する前の状態に戻せます。

「今後、待機状態にならないようにしますか」が表示されたら

サスペンド状態で、MAINスイッチで電源を切ったり異常終了したりすると、次のメッセージが表示される場合があります。



このメッセージが表示された場合は、必ず「いいえ」をクリックしてください。「はい」をクリックすると、以降サスペンド機能が使用できなくなります。

## ディスプレイや状態表示LCDの状態にあわせて開始する

作業を開始するときは、液晶ディスプレイやMAINスイッチと状態表示LCDの①の状態を確認して、次のように操作します。

### 液晶ディスプレイを閉じているとき

MAINスイッチがOFFになっている場合

液晶ディスプレイを開いてMAINスイッチをONにすると、休止状態からレジュームするか、Windows98が開始します。

### 液晶ディスプレイを開いているとき

状態表示LCDの①が点滅している場合

サスペンド(一時停止)状態になっています。SUS/RESスイッチを押します。

状態表示LCDに①が点灯している場合

画面の電源だけ切る節電機能が働いて、画面の表示が消えています。クイックポイント を動かします。

状態表示LCDに①が表示されていない場合

Save To Disk機能で休止状態にしているか、Windows98を終了しています。

MAINスイッチがONであれば、SUS/RESスイッチを押します。

MAINスイッチがOFFであれば、ONにします。



## 節電機能とバッテリーの 残量アラーム機能の設定



ここでは、本パソコンの電力消費を節約したり、バッテリーの残量を管理するための機能を説明します。

### 節電するための機能と設定

本パソコンには、次のような節電機能があります。

- ・ 操作しないときには自動的に節電する
- ・ 操作を中断するときに節電状態にする
- ・ 画面の明るさを落として節電する

#### 操作しないときには自動的に節電するための設定

パソコンを使用しているときに、しばらく何も操作をしなければ、画面を暗くするなど自動的に節電するように設定しておくことができます。

バッテリーだけで使用しているときの標準の設定

標準の設定(ご購入時の状態)では、電源を入れた状態で何も操作をしないと、次のように節電の状態になります。

液晶ディスプレイのバックライトが消え、真っ暗な状態になる。(5分後)

サスペンド状態(一時停止状態)になる。(15分後)

自動的に節電する設定を変更するには

- ・ 、 の設定は、Windows98のコントロールパネルの「電源の管理」で変更できます。
- ・ 「電源の管理」では、ACアダプタを使用している場合についても、 、 の設定が行えます。

操作方法は、Windows98のヘルプをご覧ください。

節電状態から元の状態に戻すには

- ・ 画面が暗くなったとき( )は、クイックポイント に触るか、**[Shift]**を押すと元の状態に戻ります。
- ・ サスペンド機能が働いたとき( )は、SUS/RESスイッチを押すと、元の状態に戻ります。

## アドバイス

### BIOSセットアップの設定との関係

- ・、は、BIOS<sup>バイオス</sup>セットアップの「省電力」メニューでも設定できます。
- ・BIOSセットアップの「省電力」メニューの「サスペンド動作」を「Save To Disk」にしている場合は、で休止状態になります。

以上の設定方法は ●▶『本体&オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

## 操作を中断するときに節電状態にする

操作を中断するときは、サスペンド機能やSave To Disk機能を利用して、節電することができます。

サスペンド機能やSave To Disk機能の動きは ●▶「一時停止(サスペンド)、休止(Save To Disk)、終了の3つの終わりかた」(P.2)

### サスペンド状態にする操作とレジューム(復帰)する操作

- ・次の3つの操作のどれを行っても、サスペンド(一時停止)状態になります。
  - (A)SUS/RESスイッチを押します。
  - (B)「スタートメニュー」から「Windowsの終了」を選択し「スタンバイ」を選びます。
  - (C)液晶ディスプレイを閉じます。
- ・サスペンド状態から復帰(レジューム)するときは、次の操作を行います。
  - \* SUS/RESスイッチを押します。

### 休止(Save To Disk)状態にする操作とレジューム(復帰)する操作

- ・次の操作を行うとSave To Disk機能が働いて休止状態になります。
  - (D)Fnを押しながらSUS/RESスイッチを押します。
- ・休止状態から復帰(レジューム)するときは、次のいずれかの操作を行います。
  - \* MAINスイッチがONであれば、SUS/RESスイッチを押します。
  - \* MAINスイッチがOFFであれば、ONにします。

## アドバイス

### サスペンドの操作で休止状態にすることもできる

BIOSセットアップの「省電力」では、次のように各機能の働きかたを変更できます。

- ・(A)~(C)の操作で、サスペンド(一時停止)状態ではなく休止状態になる。
- ・液晶ディスプレイを閉じて、サスペンドしない。(C)
- ・液晶ディスプレイを開けると、レジュームする。
- ・SUS/RESスイッチを押しても、サスペンド(A)や休止(D)しない。

設定方法は ●▶『本体&オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」



## ● 画面の明るさを落として節電する ●



ピーエムセット

PMSet98の機能を利用すると、画面の明るさを落として節電することができます。

画面の明るさの標準の設定

PMSet98では、バッテリーだけで使用していると画面が暗くなるように、ACアダプタで使用していると画面が明るくなるように標準で設定されています。

画面の明るさを切り替える操作

画面の明るさを切り替えるときは、タスクバーのPMSet98のアイコン(  )、 )かデスクトップのバッテリーのインジケータをダブルクリックして「PMSet98のプロパティ」ウィンドウを表示し、設定を変更します。

操作方法は、PMSet98のヘルプをご覧ください。

## ● 節電状態から自動的に元の状態に戻す

ここでは、サスペンド(一時停止)状態から自動的に元の状態に戻す方法を説明します。

## ● 時刻やモデム着信で元の状態に戻す機能 ●

指定した時刻になったときか、モデムの着信(モデムが電話を受けた)があったときにレジュームするように設定できます。

ただし、PDCコネクタに接続した携帯電話からの着信ではレジュームしません。

指定した時刻になったら復帰する設定

(E) BIOSセットアップの「省電力」の「時刻によるレジューム」で設定します。

モデム着信で復帰する設定

Windows98を起動した状態では、モデム着信で復帰するように設定されません。

(F) PMSet98は、復帰する・しないを切り替えることができます。標準では復帰しない設定になっています。

(G) PMSet98が起動しているときは、BIOSセットアップの「省電力」の「モデム着信によるレジューム」でも、復帰する・しないを切り替えることができます。

指定した時刻にプログラムを自動実行して再開する設定

(H) タスクバーにあるタスクスケジューラでタスクを自動実行するように設定します。

BIOSセットアップの「モデム着信によるレジューム」とPMSet98のレジュームの設定は ●▶『本体&オプションガイド』の「節電の設定を変更する」BIOSセットアップの設定は ●▶『本体&オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する」

#### アドバイス

##### 自動的にレジュームする場合の制限

- ・Save To Disk機能で、休止状態になっているときは、(E)~(H)でレジュームすることはできません。
- ・モデム着信でレジュームするように設定した場合は、BIOSセットアップの「省電力」メニューの「サスペンド動作」を「Save To Disk」に設定してあっても、サスペンド時には一時停止(サスペンド)状態になります。

## バッテリー残量を確認する

バッテリーの残量は、次の方法で確認できます。

状態表示LCDで確認する

表示内容は『本体&オプションガイド』の「バッテリーの残量表示を確認する」をご覧ください。

「PMSet98」で確認する

デスクトップのバッテリーのインジケータで確認できます。



： ① があればACアダプタに接続中。




： ① が黄色のときは充電中。



： バッテリーだけで使用中。グレー部分が消費した割合を表示。

インジケータか、またはタスクバーの ① か ② にクイックポイント でマウスポイントを合わせると、電源の使用状態とバッテリー残量が表示されます。操作方法は、PMSet98のヘルプをご覧ください。

コントロールパネルの  (電源の管理)で確認する

コントロールパネルの  (電源の管理) をクリックし、表示された「電源の管理のプロパティ」ウィンドウで「電源メーター」タブをクリックします。

操作方法は、Windows98のヘルプをご覧ください。

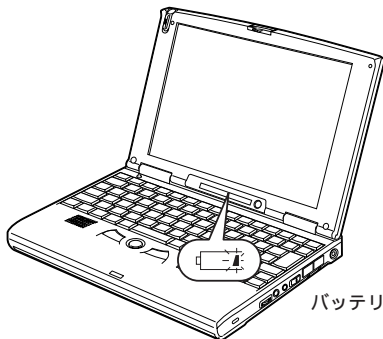
## バッテリー残量低下時のアラームの設定

バッテリー残量が少なくなったときは、メッセージや音などで警告したり、バッテリー切れを防ぐために節電状態に切り替えることができます。

### ● バッテリー残量低下で自動的に節電する機能

バッテリー残量低下時の電源アラームの設定

標準の設定(ご購入時の状態)では、バッテリー残量が減少すると、次のようにメッセージや音などで警告したり、節電状態に切り替わります。



バッテリー残量表示

バッテリーの残量が13%になったとき...バッテリー低下を警告するメッセージが表示される。

バッテリーの残量が12%になったとき...「ピー」という警告音が一定間隔で鳴り続け、状態表示LCDの「バッテリー残量表示」が点滅する。

バッテリーの残量が3%になったとき...バッテリー低下を警告するメッセージが表示され、サスペンド(一時停止)状態になる。

バッテリーの残量が0%になったとき...サスペンド状態になる。

「電源の管理」で変更できるもの

- ・ と はWindows98のコントロールパネルの「電源の管理」で変更できます。

「電源の管理」では、バッテリーの残量に応じて、メッセージを表示したり、サスペンドまたはシャットダウン(終了)するように設定できます。

ご購入時には、「電源の管理」は本パソコンに適した設定になっています。変更する必要はありません。

- ・ と は、本パソコン独自の機能です。「電源の管理」では変更できません。

バッテリー切れが警告されたときの対処方法やバッテリーの充電方法は ●▶『本体&オプションガイド』の「バッテリーで使う」

## 第2章

### パソコンを電話回線に接続する

インターネットを使うための、最初の一步が電話回線に接続することです。

ここでは、室内の電話回線に接続する方法と、  
携帯電話や公衆電話に接続する方法を説明します。

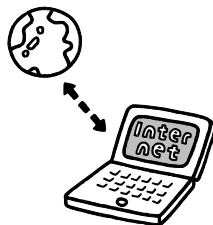


おややピブ朗君、モジュラーケーブルではつなげませんよ。  
携帯電話につなぐときには、専用のケーブルを使いましょう。

この章では、次の内容を説明しています。

- ・インターネットを使えるようにするには、どうすればよいか。  
( ●▶ P.12 )
- ・自宅など室内の電話回線に接続する方法 ( ●▶ P.14 )
- ・携帯電話やPHSに接続する方法 ( ●▶ P.14 )
- ・ISDN公衆電話( グレーの公衆電話 )から通信する方法 ( ●▶ P.16 )

# インターネット： こうすれば使える



ここでは、自宅や会社などで室内の電話回線を使ってインターネットを利用するときの操作の進めかたを説明します。

## InfoWeb(プロバイダ)を利用する場合

プロバイダとしてInfoWebを利用するときは、次の順番で操作を行ってください。

### 電話回線に接続する

本パソコンを室内の電話回線に接続します。

- ▶「電話回線に接続するには」( P.14 )



### インターネットへの接続の設定をする

インターネットを試してみたいときは

次のマニュアルで設定方法とインターネットの利用方法をご覧ください。

- ▶『はじめよう！インターネット( InfoWeb )』

InfoWebに加入してインターネットを始めるときは

次のマニュアルで接続の設定を行ってから、に進んでください。

- ▶『はじめよう！インターネット( InfoWeb )』

すでにInfoWebに加入しているときは

次のマニュアルで接続の設定を行ってから、に進んでください。

- ▶『はじめよう！インターネット( InfoWeb )』



### インターネットを使う

- ▶「ホームページを表示する」( P.41 )  
「Eメールを利用する」( P.52 )

### 用語 プロバイダ

インターネットへの接続サービスを提供する業者。インターネット接続サービスプロバイダの略。

## 他のプロバイダを利用する場合

InfoWeb以外のプロバイダを利用するときは、次の順番で操作を行ってください。

### 電話回線に接続する

本パソコンを室内の電話回線に接続します。

- ▶「電話回線に接続するには」( P.14 )



### インターネットへの接続の設定をする

プロバイダに加入してインターネットを始めるときは加入の申し込みと接続の設定が必要です。

- ▶「他のプロバイダに加入するときは」( P.24 )

すでにプロバイダに加入しているときは

インターネットに接続するための設定を行います。

- ▶「すでに他のプロバイダに加入しているときは」( P.25 )



### インターネットを使う

- ▶「ホームページを表示する」( P.41 )
- 「Eメールを利用する」( P.52 )

### アドバイス

外出先や携帯電話でインターネットに接続するには

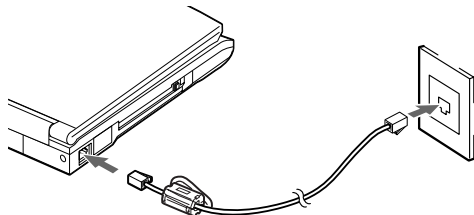
上記の設定作業を行って、室内の電話回線を使ってインターネットに接続できるようにしてから、「外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定」( •▶ P.70 )をご覧ください。

## 電話回線に接続するには



### 室内の電話回線に接続する

壁のモジュージャックから、電話機を接続しているモジュラーケーブルを外し、代わりに本パソコンを、添付のモジュラーケーブルで接続します。



接続の詳細は、『本体&オプションガイド』の「電話回線に接続する」をご覧ください。

接続作業が終了したら以下の箇所をご覧ください。

インターネットをInfoWebで利用するときは ●▶「InfoWeb(プロバイダ)を利用する場合」(P.12)

インターネットを他のプロバイダで利用するときは ●▶「他のプロバイダを利用する場合」(P.13)

### 携帯電話やPHSを接続する

本パソコンに携帯電話やPHSを接続して、インターネットやパソコン通信を利用することができます。

接続のしかたは、『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。

接続作業が終了したら、「外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定」(●▶P.70)をご覧ください。

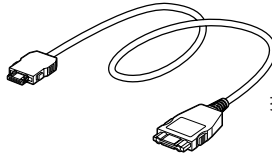
### デジタル携帯電話を接続する場合

デジタル携帯電話で通信する場合は、PDCコネクタに接続できる機種であれば、添付の「携帯電話接続ケーブル」で接続できます。その他の機種の場合は、別売の「デジタル携帯電話接続カード」を使用します。

PDCコネクタ用の「携帯電話接続ケーブル」を使う場合

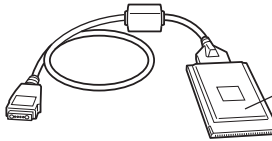
デジタル携帯電話を本パソコンの背面にあるPDCコネクタに、携帯電話接続ケーブルを使って接続します。

詳しくは『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。



携帯電話接続ケーブル

デジタル携帯電話接続カードを使う場合  
接続カードにデジタル携帯電話を接続して、接続カードを本パソコンのPCカードスロットに挿入して使用します。



デジタル携帯電話  
接続カード

#### アドバイス

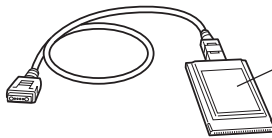
アナログ携帯電話で通信するには

- ・アナログ携帯電話は、デジタル携帯電話接続カードには接続できません。
- ・アナログ携帯電話で通信するには、別売の「モデムカード2400」を使用して「無線電話接続ケーブル」で接続してください。

### PHSを接続する場合

32Kデータ通信(PIAFS)対応のPHSで通信する場合は、別売の「PHS接続カード(PIAFS対応)」が必要です。

接続カードにPHSを接続して、接続カードを本パソコンのPCカードスロットに挿入して使用します。



PHS接続カード  
(PIAFS対応)

#### アドバイス

32Kデータ通信に対応していないPHSで通信するには

- ・32Kデータ通信に対応していないPHSは、PHS接続カードには接続できません。
- ・32Kデータ通信に対応していないPHSで通信するには、別売の「モデムカード2400」を使用して「無線電話接続ケーブル」で接続してください。



## 用語 PIAFS(ピアフ)

PHS Internet Access Forum Standardの略で、PHSによるデジタルデータ通信の標準規格のこと。PHSのデジタル通信回線(32Kbps)を利用して、非常に高速な通信が行える反面、相手側のアクセスポイントや端末もPIAFSに対応している必要がある。

## 公衆電話に接続して通信をする

外出時にモジュラーケーブルを用意しておけば、ISDN公衆電話(グレーの公衆電話)に接続して、通信することができます。

### 必要な準備


公衆電話からインターネットを利用するためには、以下の設定が済んでいることが必要です。

- ・プロバイダに加入して、接続するための設定が済んでいる。
- ・外出先から近くのアクセスポイントに接続するための設定が済んでいる。  
発信元のダイヤル方法は「トーン」に、外線発信番号は削除しておくことが必要です。
- ・内蔵モデムで接続するようになっている。

これらの設定については、「第4章 外出先でインターネットを使う」(▶▶ P.69)をご覧ください。

### 重要

#### バッテリーだけで使用しているときは

- ・通信中に  (状態表示LCDのバッテリー残量表示) が点滅を始めたら、間もなくバッテリーがなくなります。ただちに通信を終了し、充電してください。
- ・通信中にバッテリーが完全になくなると、インターネットに接続したままで、電源だけが切れてしまいます。この場合は、MAINスイッチをOFFにしてからモジュラーケーブルを抜いて、電話回線との接続を切ってください。

インターネットのプロバイダとの通信では、一定時間データの送受信がないと、自動的に接続が切断されますが、それまでの電話料金や利用料金がかかってしまいます。

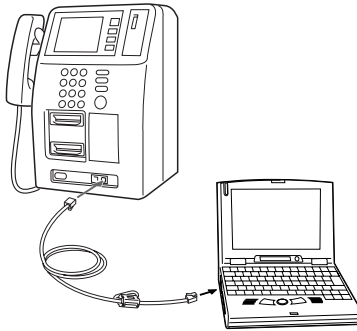
## 操作の方法

モジュラーケーブルを使って、ISDN公衆電話から通信します。  
公衆電話は公共の施設なので、長時間の通信には利用しないようにしましょう。

### 警告

感電 機器を接続するときは、必ずパソコン本体のMAINスイッチをOFFにしてください。  
感電の原因となります。

- 1 モジュラーケーブルを本パソコンのモジュラーコネクタと、公衆電話の「アナログ」と書かれた接続口に接続します。

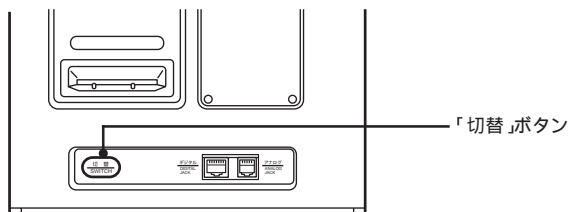


### アドバイス

別売のISDNカードを取り付けているときは

モジュラーケーブルを公衆電話の「デジタル」と書かれた接続口に接続します。詳しくは、ご使用のISDNカードのマニュアルをご覧ください。

- 2 本パソコンのMAINスイッチをONにします。
- 3 Windows98 が起動したら、以下の操作を行います。  
インターネットに接続するときは、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウのインターネットへの接続設定をクリックし、パスワードを入力しておきます。●▶「専用の接続設定を使って接続する」(P.73)
- 4 公衆電話の「切替」ボタンまたは「データ通信」ボタンを押します。  
これでダイヤルなどの操作を本パソコンから行えるようになります。



## 5 テレホンカードを入れます。

硬貨でも利用できます。通信の途中で電話が切れないように、度数に余裕のあるテレホンカードのご利用をお勧めします。

## 6 本パソコンで接続の操作を行います。

インターネットに接続する場合は、「接続」ウィンドウの「接続」をクリックします。

接続できたら、「Internet Explorer」や「Outlook Express」を使ってインターネットをご利用ください。

接続の操作の詳細は ●▶「専用の接続設定を使って接続する」(P.73)

### **アドバイス**

通信を終了してもテレホンカードが出てこないときは

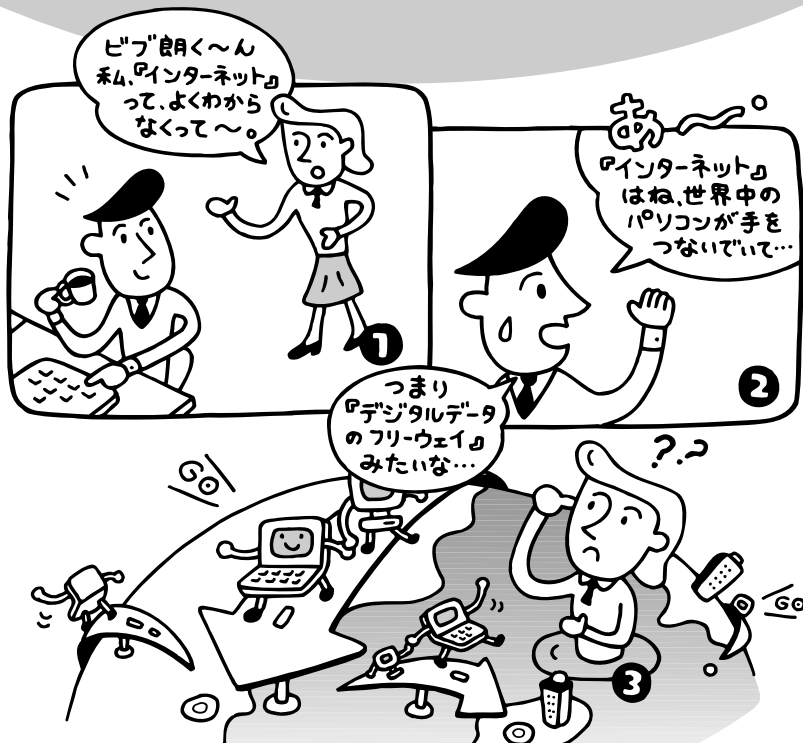
Windows98を終了し、MAINスイッチをOFFにして、モジュラーケーブルを取り外してください。

# 第3章

## インターネットを利用する

本パソコンには、簡単な操作でインターネットのプロバイダに加入して、すぐにインターネットを始めることができるアプリケーションが入っています。

ここでは、インターネットに接続するための設定方法や実際にインターネットを使うときの操作方法を説明します。

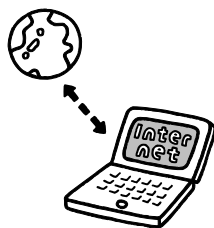


ピブ朗君も、やっと覚えたばかり。  
彼女には、うまく伝わらなかったようですね...

この章では、次の内容を説明しています。

- ・インターネットってどんなもの?( \*\*▶ P.20 )
- ・InfoWebでのインターネットの始めかた( \*\*▶ P.23 )
- ・他のプロバイダでのインターネットの始めかた( \*\*▶ P.24 )
- ・ホームページの楽しみかた( \*\*▶ P.41 )
- ・Eメールの活用方法( \*\*▶ P.52 )
- ・うまく接続できないときの対処方法( \*\*▶ P.65 )

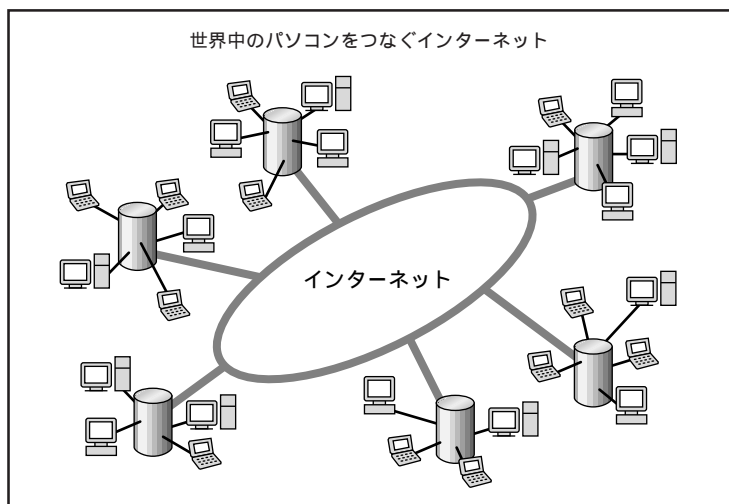
# FMV-BIBLOで インターネット



## 世界中のパソコンをつなぐインターネット

インターネットとは、電話やFAXのように世界中のコンピュータをつなぎ、お互いにデータをやりとりできるようにする仕組みのことです。

自分のパソコンを電話回線につなぎ、最寄りのアクセスポイントに接続するだけで、世界中のインターネットユーザーとEメールを交換したり、ホームページを見たり、ホテルや航空券を予約したり、有名ブランドショップに欲しいものを注文したりと、目的に合わせてインターネットを楽しむことができます。



### **用語** アクセスポイント

インターネットのプロバイダ(サービス提供会社)やパソコン通信に接続するとき、それらのサービスを行っている会社が指定した電話番号にダイヤルする。この電話番号を「アクセスポイント」という。インターネットのプロバイダ「InfoWeb(インフォウェブ)」では、日本全国の主要な都市にアクセスポイントを用意している。

## インターネットの利用には、プロバイダとの契約が必要

インターネットを利用するには、ネットワーク内での自分の連絡先(アドレス)を決める必要があります。アドレスがないと、電子メールを交換したり、いろいろな情報サービスを受けることができません。アドレスは、インターネットのサービスを提供する会社(プロバイダ)と契約することによって取得できます。

## インターネットで利用できるいろいろなサービス

インターネットには、国内、海外を問わず、多彩なサービスが用意されています。ここでは、最もよく利用される、「ホームページ探索」、「オンラインショッピング」、「電子メール」を紹介します。

### ホームページ探索(WWW)

インターネットが急速に普及したのは、WWW(ワールドワイドウェブ)を利用すると、世界中のさまざまな情報に対して自由にアクセスし、文字だけでなく、画像、音声、動画などを含むマルチメディア情報を取り出せるからです。数え切れないほどの企業や個人が、WWWを利用して、自分の活動や最新の製品情報などを紹介する「ホームページ」を公開しています。また、自分でホームページを作成して、世界中のインターネットユーザーに向けて情報を発信することも、簡単にできます。

さまざまなホームページの間には、「リンク」と呼ばれる関連付けが設定されているので、自分の関心がある情報をクリックするだけで、別のホームページを表示させて情報を得ることができます。

#### 用語 WWW

World Wide Webを略したもの。「世界中にクモの巣のように広がる(情報の網)」という意味。「ワールドワイドウェブ」または「トリプルダブリュ」と読む。また、単に「ウェブ」ともいう。

### オンラインショッピング

ホームページでカタログが見れるようにして、インターネット上で通信販売(オンラインショッピング)をしている所も数多くあります。世界中のさまざまな商品をウィンドウショッピング感覚で見たり、実際に注文して、手軽に個人輸入を楽しむこともできます。ただし、オンラインショッピングで商品を購入するときは、契約条件をよく読んで、トラブルに気をつけてください。

### Eメール(Electric Mail:電子メール)

Eメールはいつでも、どこからでも、電話回線を通じて瞬時に手紙を送ることができ、自分宛の手紙は自分の都合のよい時間にパソコン上で読むことができます。また、複数の相手に一度に同じEメールを送ったり、Eメールにパソコンのファイルを添付して送ることもできます。

最寄りのアクセスポイントに電話するだけで手紙やデータのやりとりができるので、通信費が安く済みます。また、やりとりするデータが電子データなので、受け取ったあとパソコンで自由に加工できる点でも、大変便利です。同じテーマに関心を持つ人々が、「メーリングリスト」というグループを作り、1通のメールを送るとグループの全員に同じものを配信できる仕組みもあります。

#### アドバイス

10円メールで、Eメールを簡単に利用することもできます

NTTドコモのデジタル携帯電話をお使いの方は、マスターネット(プロバイダのひとつ)が提供する「10円メール」の機能を利用して、携帯電話から簡単な操作でEメールのやりとりができます。詳しくは、「10円メール(携帯電話専用)を使う」(●▶ P.95)をご覧ください。

## その他のサービス

インターネットは、今最も注目されている技術のひとつです。新しいサービスが次々に登場し、今も発展を続けています。ここでは、それらの中からいくつかを紹介します。詳しくは、それぞれのヘルプをご覧ください。

### ニュースグループ

同じテーマに関心を持つ人々が、自由に情報や意見を交換する、掲示板のような仕組みのことで、世界中でさまざまな議論が交わされているので、のぞいてみるだけでも面白いでしょう。

本パソコンでは、<sup>アウトルック エクスプレス</sup>「Outlook Express」で利用できます。

### インターネット会議

音声データをリアルタイムにやりとりすることで、インターネットを電話のように利用することができます。同時にビデオ画像をやりとりすればテレビ電話にもなり、離れた場所にいる人とでも一緒に会議ができます。

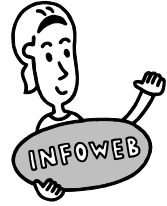
本パソコンでは、<sup>マイクロソフト ネットミーティング</sup>「Microsoft NetMeeting」で利用できます。

### チャンネル

新聞や情報誌のように常に最新の情報(ホームページ)を表示することができる機能です。あらかじめチャンネルを購読しておくと、チャンネルの提供者が設定したスケジュールに従ってインターネットに接続し、チャンネルの提供者が用意したページが自動的にハードディスクにダウンロードされます。

本パソコンでは、<sup>インターネット エクスプローラ</sup>「Internet Explorer」で利用できます。

# InfoWeb(プロバイダ)で インターネットを利用する



インターネットを利用するには、プロバイダと契約することが必要です。  
インフォウェブ  
 InfoWebは、弊社が提供するプロバイダサービスです。

## InfoWebの無料体験サービスを利用するとき

本パソコンには、InfoWebを通してインターネットを試しに5時間まで使ってみることができるサービスが付いています。

本パソコンを電話回線に接続するだけで、すぐにさまざまなホームページを見ることができます。

無料体験サービスの利用方法は ●▶ 『はじめよう！インターネット (InfoWeb) 』

## InfoWebに加入してインターネットを始める

InfoWebには、本パソコンから電話回線を通して加入の申込みが行えます。加入したその日から、すぐにインターネットを利用できます。

加入後は、ホームページを見るだけでなく、メールをやりとりしたり、自分のホームページを作るなど、インターネットを本格的に活用することができます。

InfoWebへの加入方法は ●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb) 』

## すでにInfoWebに加入しているときは

すでに加入されている場合は、InfoWebに接続するための設定を行えば、インターネットを利用できます。

『はじめよう！インターネット(InfoWeb) 』の「ダイヤルアップ設定」を利用すると、簡単な操作で設定することができます。

設定方法は ●▶ 『はじめよう！インターネット(InfoWeb) 』



# 他のプロバイダでインターネットを利用する



ここでは、InfoWeb以外のプロバイダでインターネットを利用するときに必要なとなる接続の設定について説明します。

## 他のプロバイダに加入するときは

プロバイダへの加入方法は、プロバイダ各社によってさまざまです。プロバイダ各社の資料に従って加入の手続きを行ってください。

### アドバイス

InfoWeb以外のプロバイダにオンラインサインアップするには

オンラインサインアップで加入するには、次の2つの方法などがあります。

「インターネット接続ウィザード」で行う

- ・インターネット接続ウィザードは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「Internet Explorer」の順にマウスポインタを合わせ、「接続ウィザード」をクリックして開始します。
- ・インターネット接続ウィザードの「インターネット接続ウィザードを開始します。」というウィンドウで、「サインアップし新しい...」の  をクリックし  にして「次へ」をクリックすると、オンラインサインアップができるようになります。その後の操作は画面の指示に従って行ってください。

「オンラインサービス」を利用する

- ・オンラインサービスは、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「オンラインサービス」の順にマウスポインタを合わせ、加入するプロバイダやサービスの名前をクリックして開始します。その後の操作は、画面の指示に従って行ってください。

## コラム

### 「インターネット接続設定」とは

- ・インターネットへの接続に使用する設定です。  
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。  
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・インターネット接続設定は、Windows 98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。

## すでに他のプロバイダに加入しているときは

ここではインターネット接続ウィザードを使って、インターネット接続設定 ( ●▶ P.24 コラム ) を作成します。

また、インターネット接続ウィザードで以下の設定を行うと、Internet Explorer( ブラウザ ) や Outlook Express( メールソフト ) で、ホームページを表示したり、メールをやりとりできるようになります。

### 設定する内容

インターネット接続ウィザードの各画面で設定する内容は、加入されているプロバイダによってそれぞれ異なります。

各プロバイダに接続する方法が記載されている資料を用意して、それに基づいて操作を行ってください。

### インターネットへの接続の設定をする



インターネットへ接続するための設定を行います。

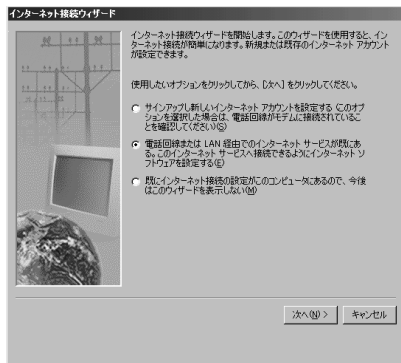
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「Internet Explorer」の順にマウスポインタを合わせ、「接続ウィザード」をクリックします。

「インターネット接続ウィザードを開始します。」と先頭に書かれたウィンドウが表示されます。


### 基本的な接続方法の設定

インターネットに電話回線を使って接続するか、LANを使って接続するかなど、基本的な接続方法について設定します。

- 2 上から 2 番目の「電話回線または LAN 経由での...」の  をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。



「オプションを選択してから...」というウィンドウが表示されます。


- 3 上の項目の「インターネットサービスプロバイダや...」が  になっているか確認し「次へ」をクリックします。

「インターネット接続の設定」というウィンドウが表示されます。


## インターネット接続の設定

プロバイダに接続するための接続先の電話番号や使用するモデムを設定します。

また、インターネットへ接続するときを使うユーザー名(インターネットアカウント ●▶ P.27 コラム)とパスワードなども設定します。

- 4 「電話回線を使って接続する」が  になっているか確認して「次へ」をクリックします。

「モデムの選択」というウィンドウが表示されます。

- 5  をクリックし、一覧から使用するモデムをクリックして「次へ」をクリックします。

内蔵モデム(V.90対応)を使用する場合は「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」を、携帯電話をPDCコネクタの「携帯電話接続ケーブル」で使用する場合は「Fujitsu SOFT PDC」を選択します。接続カードを使用する場合は、該当するものを選択します。


### アドバイス

「ダイヤルアップ接続」のウィンドウが表示された場合

すでにインターネットへの接続設定が作成されている場合に表示されます。

- ・外先や携帯電話用に新たにインターネット接続設定を作成するときは、「新規にダイヤルアップ接続を行う」を選択して次の手順6に進んでください。
- ・アクセスポイントの電話番号だけ変更すればよいときは、「既存のダイヤルアップ接続を使う」を選択して「次へ」をクリックします。「ダイヤルアップ接続の設定」ウィンドウで「はい」を選択して、次の手順6に進んでください。

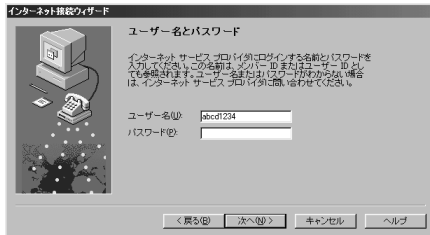
- 6 接続先の電話番号を設定し、「次へ」をクリックします。

- ・接続先(アクセスポイント)の市外局番と電話番号を入力し、「国名と国番号」欄の  をクリックして、一覧から「日本(81)」をクリックします。
- ・「国番号と市外局番を使ってダイヤルする」が  になっているか確認します。

## 7 プロバイダから割り当てられた「ユーザー名」を入力します。

「ユーザー名」は、インターネットに接続するのに必要な名義(アカウント)で「インターネットアカウント」といいます。

ここでは、ユーザー名だけを入力することをお勧めします。



### 重要

入力する文字の種類に注意してください

ユーザー名とパスワードは、大文字と小文字、全角と半角を間違えて入力すると、接続できないので注意してください。

ユーザー名とパスワードの両方を設定すると

接続時に、自動的にユーザー名とパスワードが送られて接続してしまいます。接続操作が簡単になりますが、本人以外の誰でもインターネットに接続できてしまうので、大変危険です。

パスワードは、暗証番号に相当するものです

他人に知られないよう、取り扱いにご注意ください。

## 8 「ユーザー名とパスワード」のウィンドウで「次へ」をクリックします。

「パスワードを空白のままにしておきますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」をクリックします。

「詳細設定」というウィンドウに「この接続の詳細設定を変更しますか?」と表示されます。

### コラム

インターネットアカウント、ユーザー名、接続ID

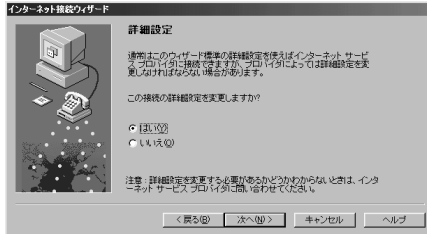
インターネットのネットワークに参加する権利に付けた名前(アカウント、名義)。プロバイダによっては、インターネットアカウント、ユーザー名、接続IDなどと呼びます。インターネットでは、このアカウントが参加者を特定するIDとして機能します。

インターネットに接続するときは、アカウントとそれに対応するパスワードを入力して参加の権利を証明します。インターネットに接続後に、メールの受信のために受信メールサーバーに接続する権利が、メールアカウント(POPアカウント)です。プロバイダによっては1つのアカウントで両方を兼ねています。


## インターネット接続の詳細設定

インターネットに接続するときに必要な、自分のコンピュータを特定するためのアドレス( IP アドレス )や、接続の橋渡しをするサーバー( DNS サーバー )のアドレスを設定します。

- 9 「はい」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。



「接続の種類」というウィンドウが表示されます。

- 10 「PPP( Point to Pointプロトコル)」が  になっているか確認して「次へ」をクリックします。

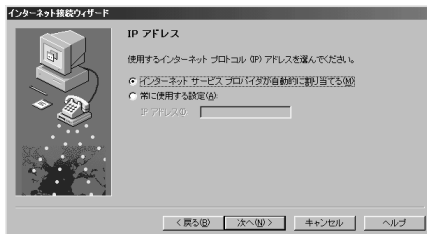
「ログオンの手続き」というウィンドウが表示されます。

- 11 プロバイダの指示に従って設定し「次へ」をクリックします。

InfoWebなど多くの場合は「ログオン時には何も入力なくてよい」を選びます。

- 12 プロバイダの指示に従って本パソコンのIPアドレスを設定し「次へ」をクリックします。



InfoWebなど多くの場合は「インターネットサービスプロバイダが自動的に割り当てる」を選びます。

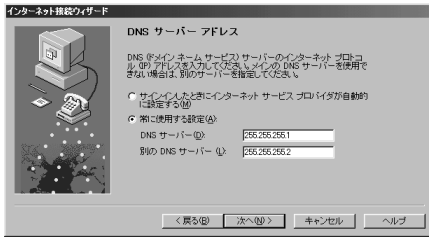


### ディーエヌエス DNSサーバー

DNSとは「Domain Name System(ドメインネームシステム)」の略。「サーバー」とは、プロバイダに設置された、インターネットの接続サービス提供用コンピュータのこと。DNSサーバーは、インターネットに接続しているすべてのコンピュータに割り当てられているID番号( IP アドレス )とコンピュータ名の照合を行う。これによって4組の数字を羅列したIPアドレスではなく、意味のある言葉でアドレスを指定できる。

## 13 プロバイダの指示に従ってDNSサーバーのIPアドレスを設定します。

- 自動的に設定される場合  
「サインインしたときに...自動的に設定する」をクリックして  にします。
- 手動で入力する必要がある場合  
「常に使用する設定」をクリックして  にし、「DNSサーバー」、「別のDNSサーバー」の入力欄をクリックして、それぞれに入力します。  
「DNSサーバー」はプライマリ(正)ドメインネームサーバー、「別のDNSサーバー」はセカンダリ(副)ドメインネームサーバーのことです。



### アドバイス

#### DNSサーバーのアドレスの入力

- DNSサーバーのアドレスがわからないときは、ご契約のプロバイダに問い合わせてください。
- DNSサーバーアドレスは、「202.248.2.226」などのように、255以下の4組の半角数字を「.」(半角ピリオド)で区切って入力します。

## 14 「DNSサーバーアドレス」のウィンドウの「次へ」をクリックします。

「ダイヤルアップ接続名」というウィンドウが表示されます。

### アドバイス

#### 「インターネットメールアカウントの設定」のウィンドウが表示された場合

手順5で、「既存の...を使う」を選択したため表示されます。

- 新しい接続設定を作成するためには、手順5に戻ってやり直してください。
- 既存の接続設定を変更するだけであれば、手順16に進んでください。

## 15 「接続名」の欄にインターネット接続設定に付ける名前を入力して「次へ」をクリックします。

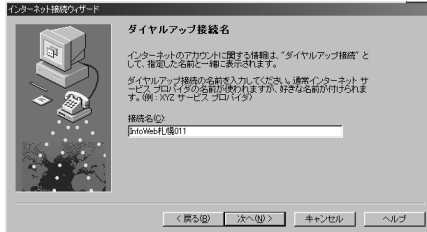
標準では、「接続先 - .....」という名前が付きます。「.....」は、接続先の電話番号です。

## アドバイス

### 接続名の付け方

プロバイダ名やアクセスポイントの場所、市外局番、使用する電話の種類(モデムの種類)が分かるように付けます。

例:「InfoWeb札幌011」、「InfoWebPDC東京C」、「InfoWebPHS大阪」



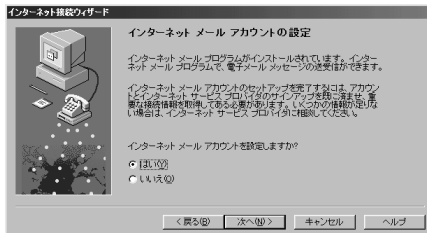
「インターネットメールアカウントの設定」というウィンドウに「インターネットメールアカウントを設定しますか?」と表示されます。

## インターネットメールアカウントの設定

Outlook ExpressでEメールを利用するときは、そのための設定を行います。メールを利用するための名義(メールアカウント)と、自分へのメールの宛名になるメールアドレスなどを設定します。

### 16 「はい」をクリックして にし、「次へ」をクリックします。

「いいえ」を選んだ場合は、手順25へ進んでください。





「名前」というウィンドウが表示されます。

## アドバイス

### 「インターネットメールアカウント」のウィンドウが表示された場合

すでにメールアドレスの設定が済んでいます。

外出先や携帯電話で同じメールアドレスを使う場合は、「既存の...を使う」を  にして、一覧から使用するものを選び、「次へ」をクリックします。

次に「設定のインポートの確認」のウィンドウが表示されるので、「変更しない」を  にして「次へ」をクリックします。

これで「インターネットニュースアカウントの設定」のウィンドウが表示されるので、手順25に進んでください。

**17** 名前を入力して「次へ」をクリックします。

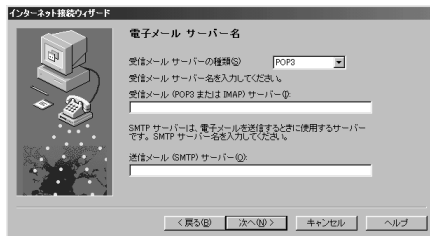
自分の氏名など自由に名前を入力します。メールを送ると、この名前が送り先の画面の「差出人」欄に表示されます。

**アドバイス****差出人名に使用する文字種類**

- ・半角のカタカナは使用しないでください。送受信に使用するアプリケーションの種類やその設定によっては、半角カタカナは無関係な文字に化けてしまいます。
- ・英語だけ使用できるパソコンで正しく表示されるには、半角英字であることが必要です。


**18** プロバイダに指示されたメールアドレスを入力して「次へ」をクリックします。**19** 「電子メール サーバーの種類」の▼をクリックし、一覧から「POP3」が「IMAP」を<sup>ポップ</sup>アイマップをクリックします。

電子メールサーバーの種類は、契約しているプロバイダに合わせて選びます。

**20** 「受信メール(POP3...)」に、プロバイダに指示された受信メールサーバー名を入力します。**21** 「送信メール(S M T P )...」に、プロバイダに指示された送信メールサーバー名を入力して「次へ」をクリックします。

受信メールサーバー名と同じであるプロバイダもあります。

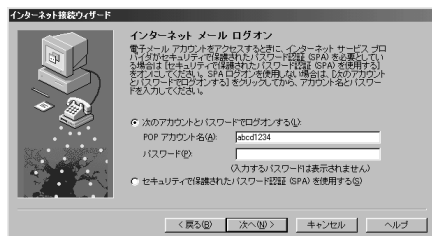


- 22 「次のアカウントとパスワードで...」がになっているか確認し、「POP アカウント名」を入力します。


「POPアカウント名」には、プロバイダから割り当てられたメールアカウントを入力します。

Eメールを使うには、インターネットに接続するためのインターネットアカウント(手順7)とメールサーバに接続するためのメールアカウント(手順22)が必要です。1つのアカウントで両方を兼ねるプロバイダもあります。異なる場合は間違わないようご注意ください。

「パスワード」は空白にしておくことをお勧めします。



#### アドバイス

プロバイダへのパスワード送信時にセキュリティ機能が使える場合は「セキュリティで保護されたパスワード認証...」をクリックしてにします。

- 23 「インターネット メール ログオン」のウィンドウで「次へ」をクリックします。


「メールアカウント名」というウィンドウが表示されます。

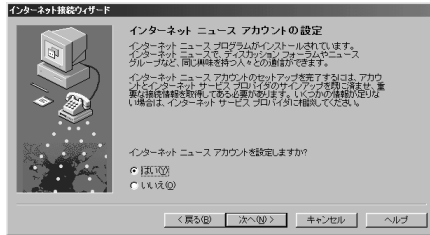
- 24 「メールアカウント名」を入力し、「次へ」をクリックします。

メールアカウント名は、自由に付けられます。以上で行ったメールの設定は、ここで付けた名前前でOutlook Expressのアカウントの一覧に表示されます。「次へ」のクリックによって、「インターネット ニュース アカウントの設定」というウィンドウに「インターネットニュースアカウントを設定しますか?」が表示されます。

## インターネットニュースアカウントの設定

ニュースグループのサービスを利用するための設定を行います。

- 25** ニュースグループを利用する場合は「はい」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。





- 「名前」というウィンドウが表示されます。  
「いいえ」を選んだ場合は手順31へ進んでください。

### アドバイス

「インターネット ニュース アカウント」のウィンドウが表示された場合

すでにニュースアカウントの設定が済んでいます。

外出先や携帯電話で同じニュースアカウントを使う場合は、「既存の...を使う」を  にして、一覧から使用するものを選び、「次へ」をクリックします。

次に「設定のインポートの確認」のウィンドウが表示されるので、「変更しない」を  にして「次へ」をクリックします。

これで「インターネット ディレクトリ サービスの設定」のウィンドウが表示されるので、手順31に進んでください。

- 26** 名前を入力して、「次へ」をクリックします。

自分が投稿したときに、メッセージ(記事)に差出人名として付けられる名前です。

自分の氏名など自由に名前を入力します。

入力する文字の種類についての制限は手順17のアドバイス欄をご覧ください。「インターネットニュースの電子メールアドレス」というウィンドウが表示されます。

- 27** プロバイダから割り当てられたメールアドレスを入力し、「次へ」をクリックします。

「電子メールアドレス」とは手順18で設定したメールアドレスのことです。

- 28 「ニュース( N N T P )サーバー」の欄にプロバイダに指示されたニュースサーバー名を入力します。



- 29 「このニュースサーバーはログインが必要」を、プロバイダの指示に従って設定し「次へ」をクリックします。

「このニュースサーバーはログインが必要」を  にしたときは、ログイン用のアカウント名とパスワードを設定します。

「ニュースアカウント名」というウィンドウが表示されます。

- 30 「ニュースアカウント名」を入力し、「次へ」をクリックします。

ニュースアカウント名は、自由に付けられます。

以上で行ったニュースの設定は、ここで付けた名前でもOutlook Expressのアカウントの一覧に表示されます。

「インターネットディレクトリサービスの設定」というウィンドウに、ディレクトリサービスアカウントを設定するかどうか尋ねるメッセージが表示されます。




- 31 プロバイダの指示に従って設定し、「次へ」をクリックする。

「いいえ」に設定した場合は、設定完了のウィンドウが表示されます。

「はい」に設定した場合は、画面の指示に従ってディレクトリサービスの設定を行ってください。

- 32 「完了」をクリックします。

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」と表示されることがあります。その場合は、「はい」をクリックすると、本パソコンが再起動され、設定が有効になります。

初めて接続設定を作成したときは、デスクトップの  インターネットに接続が消え、 (Internet Explorer)と (Outlook Express)が表示されます。

### インターネット接続設定の確認・調整が必要


以上でインターネットへの接続設定が作られ、Internet ExplorerやOutlook Expressの設定も行われました。


ただし、インターネット接続設定には、インターネット接続ウィザードでは設定できない内容もあるため、作成した接続設定の内容を調整することが必要です。引き続き、次の「インターネットへの接続設定を調整する」を行ってください。

## インターネットへの接続設定を調整する

インターネット接続ウィザードで作成した、インターネットへの接続設定の内容を確認し、必要な変更を行います。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」の順にマウスポインタを合わせ「ダイヤルアップネットワーク」をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウは、「マイコンピュータ」ウィンドウの  (ダイヤルアップネットワーク) をクリックしても、表示することができます。

- 2 「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウの使用する接続設定のアイコン  を右クリックして「プロパティ」をクリックします。

作成したインターネット接続設定のアイコンが表示されない場合は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウを開き直すか、本パソコンを再起動してください。



右クリックした接続設定の名前のウィンドウが表示されます。

左クリックしたときに表示される「接続」ウィンドウと間違えないようにしてください。

### コラム

#### 「インターネット接続設定」とは

- ・インターネットへの接続に使用する設定です。  
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。  
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・インターネット接続設定は、Windows 98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。

## アドバイス

接続設定には、プロバイダ名や自分で指定した名前が付いています

- InfoWebのオンラインサインアップで作成したものは、標準では「InfoWeb」という名前が付いています。
- インターネット接続ウィザードで作成したものは、標準では、「接続先 - .....」という名前が付いています。「.....」は、接続先の電話番号です。

### 3 「全般」タブの設定内容を確認します。



ここをクリックすると他のモデムの機種名が表示されます。

市外局番... 接続先の市外局番が入力されているか確認します。必要に応じて変更します。

電話番号... 接続先の電話番号が入力されているか確認します。必要に応じて変更します。

国番号... 「日本 (81)」が選ばれているか確認します。

市外局番とダイヤルのプロパティを使う...  になっているか確認します。

接続の方法... この接続設定で使うモデムが選ばれているか確認します。

## アドバイス

所在地情報が正しくないと接続できない

インターネットに接続するときは、そのとき選択されている所在地情報にしたがって、市外局番や外線発信番号を付けるかどうか、トーンとパルスのどちらでダイヤルするかが決められてダイヤルが行われます。

所在地情報が適切に設定されていないと、接続できません。▶「専用の接続設定を使って接続する」(P.73)

アクセスポイントを変更するときは

「市外局番」と「電話番号」をアクセスポイントの電話番号に変更します。

PIAFS対応のPHSでインターネットに接続するときは

「市外局番」と「電話番号」に、PIAFS対応のアクセスポイントの電話番号を設定することが必要です。

#### 4 モデム名が違っていればモデムを選択し直します。

「接続の方法」のモデム名の欄の▼をクリックし、モデム名の一覧を表示します。

表示されたモデム名の一覧の☰をクリックして、使用するモデムの機種名や接続カード名を表示して、それをクリックします。

- 内蔵モデム( V.90 対応 )を使う場合  
「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」を選択します。
- 携帯電話をPDCコネクタの「携帯電話接続ケーブル」で使う場合  
「Fujitsu SOFT PDC」を選択します。
- 接続カードでPHSやデジタル携帯電話を使う場合  
使用する接続カードを選択します。接続カード名が表示されない場合は、接続カードが使用できるようにしてから、やり直してください。  
●▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

#### 5 「接続の方法」の下の「設定」をクリックし、「...のプロパティ」ウィンドウを表示して、「全般」タブで設定内容を確認します。



ポート...内蔵モデム( V.90対応 )の場合は「COM2」になっているか確認します。

最高速度...お使いのモデムの最高速度になっているか確認します。

- 内蔵モデム( V.90対応 )の場合：通常は「115200 (bps)」を選択します。うまく接続できない場合には「57600」以下に設定してください。
  - PDCコネクタの「携帯電話接続ケーブル」の場合：「19200」以下に設定します。
  - デジタル携帯電話( 接続カード )の場合：V.42bis規格での通信に対応している場合は「19200」以下に、対応してない場合は「9600」以下に設定します。
  - PHSの場合：通信速度の設定は必要ありません。
- この速度でのみ接続...になっているときは、クリックしてにします。

- 6 「...のプロパティ」ウィンドウの「接続」をクリックし、設定内容を確認します。



トーンを待ってからダイヤルする...内線電話から0発信などで接続するときや、PDCコネクタの「携帯電話接続ケーブル」を使用するときは、にしてください。

ダイヤル時の接続タイムアウト...ダイヤルしたときに、ここで指定した時間以上が経過しても接続できないときは、接続を中止します。

切断までの待ち時間...(インターネットに接続しているときも)ここで指定した時間だけデータの送受信がないと、接続が切断されます。

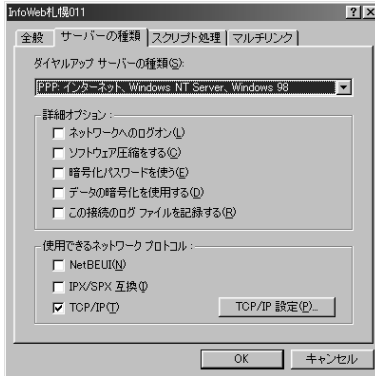
同様の設定が、Internet Explorerのプロパティでも設定でき、短い設定になっているほうが有効になります。

- 7 「オプション設定」タブをクリックし、「モデムの状態をウィンドウ表示する」がになっているか確認して「OK」をクリックします。



手順2で選択した接続設定のプロパティのウィンドウに戻ります。

## 8 「サーバーの種類」タブをクリックし、設定内容を確認します。

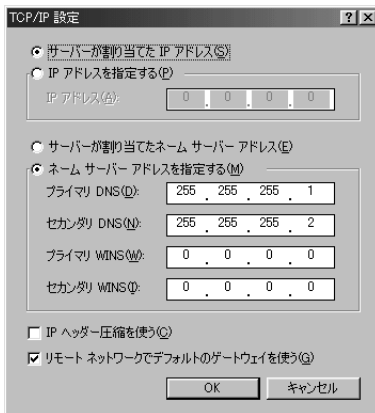


ダイヤルアップサーバーの種類...「PPP:インターネット、Windows NT Server、Windows 98」が選択されているか確認します。

詳細オプション...プロバイダの指示どおりになっているか確認します。

使用できるネットワークプロトコル...「TCP/IP」だけがになっているか確認します。

## 9 「TCP/IP 設定」をクリックし、設定内容を確認して「OK」をクリックします。



サーバーが割り当てたIPアドレス...ほとんどのプロバイダではにします。

サーバーが割り当てたネームサーバーアドレス...プロバイダによってはにします。

ネームサーバーアドレスを指定する...DNSサーバーのアドレスが一定である場合は、にして、「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」にIPアドレスを入力します。



IPヘッダー圧縮を使う...プロバイダによって異なります。  
リモートネットワークでデフォルトのゲートウェイを使う...プロバイダによって異なります。

## 10 「スクリプト処理」タブをクリックし、設定内容を確認します。



ファイル名...プロバイダによって異なります。  
ターミナル画面を最小化の状態起動する...インターネット接続設定を起動したときのターミナル画面の状態を設定します。自由に設定できます。

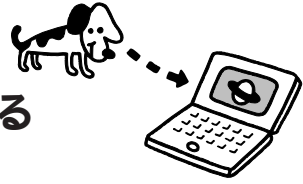
## 11 「OK」をクリックします。

以上でインターネットへの接続設定の確認が終了しました。  
実際にインターネットに接続するときは、次の「ホームページを表示する」をご覧ください。

### アドバイス



接続設定を作成した後に無料体験を利用した場合




インターネット接続ウィザードや「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」でインターネットへの接続設定を作成した後に、「インターネット無料体験」を実行すると、Internet Explorerを起動したときに、使用する接続設定を選択するウィンドウが表示されます。この場合は「インターネットオートダイヤル ウィンドウが表示されたときは」(▶ P42)の操作を行ってください。

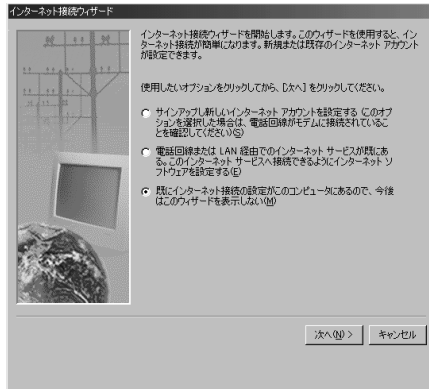





## ホームページを表示する

### Internet ExplorerとOutlook Expressのアイコンを表示

デスクトップに  (Internet Explorer) がなく  (インターネットに接続) がある場合は、Internet ExplorerとOutlook Expressのアイコンに変更します。

- 1 デスクトップの  (インターネットに接続) をクリックします。
- 2 「既にインターネット接続の設定が...」の  をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。






デスクトップの  (インターネットに接続) が消え、  (Internet Explorer) と  (Outlook Express) が表示されます。

### Internet Explorerでインターネットに接続する

ここまでの設定作業を完了すると、Internet Explorerを利用してプロバイダに接続し、ホームページを見ることができます。

#### インターネットに接続する操作方法

デスクトップに  (Internet Explorer) がなく  (インターネットに接続) がある場合は、上記の操作で  に変えてください。

インターネット  
を利用する

## 1 デスクトップの (Internet Explorer) をクリックします。


「ダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

「接続先:」の欄は、使用するインターネット接続設定の名前です。その内容を確認したり変更するときは、「設定」をクリックします。




### アドバイス

[オフライン作業]のウィンドウが表示されたときは

「ダイヤルアップ接続」のウィンドウが表示されず、「Internet Explorer」のウィンドウのタイトルバーに「オフライン作業」と表示されることがあります。

このときは「ファイル」メニューの「オフライン作業」をクリックして (チェックマーク)を外し、「Internet Explorer」をいったん閉じてからやり直してください。

「インターネットオートダイヤル」ウィンドウが表示されたときは

- ・接続名の欄のをクリックして、一覧から使用するインターネット接続の設定をクリックして、「OK」をクリックします。
- ・このウィンドウの「インターネットに自動的に接続しない」はのままにしてください。にしてしまうとインターネットに接続できなくなります。この場合は「Internet Explorerで接続できない場合」(▶▶ P66)の操作を行ってください。



## 2 必要に応じて「パスワード」欄にパスワードを入力します。

InfoWebを利用する場合はコネクションIDのパスワード、他のプロバイダの場合はインターネットアカウントのパスワードを入力します。

### 重要

「パスワードを保存する」を選択すると

接続時に、自動的にユーザー名とパスワードが送られて接続してしまいます。接続操作が簡単になりますが、本人以外の誰でもインターネットに接続できてしまうので、大変危険です。

## 用語 URL


Uniform Resource Locatorの略。ホームページ固有のアドレスを「URL(ユーアールエル)」という。

### 3 「接続」をクリックします。



「ダイヤルアップ接続」ウィンドウが閉じ、しばらくすると接続が完了して、ホームページが表示されます。

### 4 (ホーム)をクリックします。


「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」で接続の設定を行った場合は、InfoWebのホームページが表示されます。


 をクリックすると、Internet Explorerが最初に表示するホームページ(スタートページ)を表示します。



アドレス欄には、現在表示されているページを特定するためのID番号やアドレスの働きをするURL(例...<http://menu.infoweb.ne.jp>)が表示されます。アドレス欄の  を  までドラッグして離すと、現在表示中のページをスタートページに変更できます。

## リンク先のホームページを表示する


ホームページの中には、クイックポイント でマウスポインタを移動させると  (指の形) になる場所(下線や色のついた文字やボタン、アイコンなど)があります。その位置でクリックすると、その文字などに関連付け(リンク)された別のホームページが表示されます。また、ホームページによっては同じページ内の別の部分が表示されます。

リンクの有無をペン操作で確認するときは、下線の付いた場所などにタッチしたら、そのまま離さずに少し動かし、マウスポインタが  になってからペンを離してください。

### 1 ホームページで、マウスポインタが になる箇所をクリックします。

クリックした箇所に、関連付けられた別のホームページが表示され、アドレス欄にURLが表示されます。

雑誌などで知ったURLを直接アドレス欄に入力し **[Enter]** を押しても、そのホームページを表示できます。




- 2 表示されたページで、マウスポインタが になる箇所をクリックします。

また、別のホームページが表示されます。

この操作で次々にリンクをたどっていくことができます。


#### **アドバイス**

今まで表示してきたページを再度表示するには

ツールバーの (戻る) をクリックします。 (戻る) や  (進む) をクリックすると、今まで表示してきたページを再度表示することができます。

## オフラインでホームページを表示する

インターネットに接続したままで、ホームページの内容を詳細に読んでいると、電話代や接続料金ががかかります。興味のあるホームページを見つけた場合は、いったん電話回線を切断してから、その内容をじっくり読むようにすると、費用の節約になります。

- 1 タスクバーの をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウを表示して「切断」をクリックします。

これで、インターネットとの接続は切断しました。

- 2 「ファイル」メニューの「オフライン作業」をクリックします。

#### **アドバイス**

オフライン作業とは

- ・「オフライン作業」に切り替えた後も、画面には、それまで表示していたホームページが表示されます。  
インターネットに接続した状態でホームページを表示すると、そのデータが本パソコンに一時的に保存されます。
- ・実際にインターネット上でホームページを呼び出して表示するのではなく、この一時ファイルを表示することをオフライン作業といいます。

## インターネットとの接続を切る

インターネットに接続中は、アクセスポイントまでの電話代や、従量制のプロバイダの場合、接続料金が加算されます。インターネットとの接続を切るときは、以下の操作を行います。


- 1 「ファイル」メニューの「閉じる」をクリックします。

Internet Explorerが終了し、「切断」ウィンドウが表示されます。

- 2 「はい」をクリックします。

インターネットとの接続が切れます。

**アドバイス**

「切断」ウィンドウが表示されないときは  
 タスクバーの  をダブルクリックし、「...に接続」のウィンドウの「切断」をクリックします。



**Internet Explorer を活用する**


**Internet Explorer の各ボタンの働き**



以下の 検索ボタン～ チャンネルボタンをクリックすると、ホームページの左側に、それぞれの機能を実行するための領域（検索バーなど）が表示されます。

- 戻るボタン...一つ前のページを表示
- 進むボタン...一つあとのページを表示
- 中止ボタン...ページの読み込みを中止
- 更新ボタン...ページの読み込みをやり直す
- ホームボタン...起動時の表示ページに戻る
- 検索ボタン...ホームページを検索
- お気に入りボタン...「お気に入り」に登録されているページの一覧を表示
- 履歴ボタン...これまで表示したページの一覧を表示
- チャンネルボタン...チャンネルバーを表示
- 全画面表示ボタン...ホームページの最大サイズでの表示と通常サイズでの表示を切り替える
- メールボタン...メールの作業に移行
- フォントボタン...ページの文字の大きさを変える
- 印刷ボタン...ホームページを印刷
- 編集ボタン...ホームページを編集
- アドレス欄...URLを指定

**ツールバーの全体を表示する**

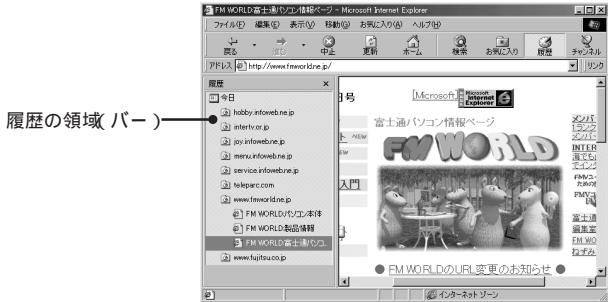
ウィンドウを大きくしてもツールバーが途中までしか表示されない場合は、次の操作で全体を表示できます。  
 「表示」メニューの「ツールバー」の「ボタンの文字列」をクリックして  (チェックマーク)を外す。

インターネットを利用する

## ホームページを表示する範囲を広げる

画面のより広い範囲にホームページを表示します。

ホームページの左側の検索、お気に入り、履歴などの領域を消す



ホームページの左側に検索、お気に入り、履歴などの領域 (バー) が表示されているときは、次の方法で消せます。

- ・バーのいちばん上にあるタイトル(「検索」など)の **X** をクリックして消します。
- ・表示されている **検索** (検索)、**お気に入り** (お気に入り)、**履歴** (履歴) などのボタンを再度クリックして消します。

全画面表示にする

- ・ツールバーの **全画面表示** (全画面表示) をクリックします。
- 全画面表示を止めるときは再度、**全画面表示** (全画面表示) をクリックします。

## ページの表示を最新のものにす

すでに一時ファイルに保存されているページは、内容が変更されていても、以前のものが表示されることがあります。最新の内容を表示するときは **更新** (更新) をクリックします。

## 「戻る」ボタンをクリックしても戻れなくなる場合

リンクをクリックしたときに、ページの表示が切り替わらずに、新たな Internet Explorer のウィンドウにリンク先のホームページが表示されることがあります。この場合、新たなウィンドウに表示されたページからは、このページを呼び出すリンクがあった元のページに戻れなくなります。元のページは、タスクバーの該当するボタンをクリックすると表示できます。

## 「戻る」ボタンを何回もクリックしないで戻る方法

リンクを次々とたどったあとでも、だいが前のページに簡単に戻ることができます。

あとで戻りたいホームページからは別のウィンドウでリンクをたどる

- 1 あとで必ず戻ってこようと思うホームページ( Aとしておきます )で、次に表示するリンク先を右クリックして、表示されるメニューから「リンクを新しいウィンドウで開く」を選びます。

これでリンク先は別のウィンドウ( Bとしておきます )に表示されます。

これ以降は、Bのウィンドウでリンクをたどって、見たいホームページを表示します。

Aに戻るときは、Aのウィンドウをクリックすると、すぐに戻ります。

Bのウィンドウは不要なら閉じてください。

## ホームページを探す

利用したい検索サービスのページで、キーワード入力欄に目的のホームページに関連するキーワードを入力し、「検索」や「Search」などをクリックすると、キーワードに関連したホームページを調べることができます。日本国内だけでなく、海外の検索サービスを利用することもできます。

- 1 ツールバーの  (検索) をクリックします。

検索の欄( 検索バー )がホームページの左側に表示されます。

「はじめよう！インターネット (InfoWeb)」で接続の設定を行った場合は、InfoNavigatorの検索バーが表示されます。

キーワード入力欄



「他サーチエンジン」をクリックして、他の検索エンジンを選ぶこともできます。

### 用語 検索エンジン

キーワードに従って、インターネット上のURLを検索するのが検索ページで、検索機能の中核をエンジンという。その検索ページ全体を指すこともある。

- 2 検索の手がかりにする言葉( キーワード )を入力します。

検索の条件の設定のしかたには次の2つがあります。

- ・複数のことばを全部含むものだけを検索する( アンド検索という )
- ・複数のことばのどれかを含むものを検索する( オア検索という )

条件の設定のしかたは、各検索エンジンごとに異なります。

複数のことばを半角スペースで区切って入力した場合、「InfoNavigator」などではアンド検索になりますが、オア検索になる検索エンジンもあります。



### 3 検索バーの「検索」をクリックします。

入力したキーワードに該当する、ホームページのタイトルとその説明が表示されます。

## ホームページの保存と印刷

必要な情報や気になる情報のあるホームページを見つけたときは、それを保存したり印刷することができます。

### 重要

#### ホームページの著作権を尊重する

インターネット上に掲載されている情報(画像、映像、音楽、文書などのデータ)の多くは、著作権法により保護されています。個人的に、あるいは家庭内で楽しむ場合を除き、権利者に無断で情報を配布することや、個人用のホームページなどに掲載することはできません。

### ホームページの文章・画像・文書全体を保存する

ホームページは、見た目には1枚のページですが、本文と画像などはそれぞれ別のファイルになっており、HTML形式という約束にしたがって組み合わされています。

ホームページのデータを保存する場合は、保存の対象に合わせて以下の方法で行います。

#### ホームページの文章の保存

保存したいホームページを表示しておいて、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を選んで行います。

ホームページを<sup>エイチティーエムエル</sup>HTML形式で保存

「名前を付けて保存」を行うときに、ファイルの種類が標準では「HTMLファイル」になっています。そのまま保存すれば、そのホームページの本文だけがHTML形式で保存されます。

このファイルを開くと、当初はホームページにあった画像なども表示されますが、これはインターネット一時ファイルにある画像を表示しているだけです。一時ファイルが指定した容量を上回ると、自動的に消されて表示されなくなります。

HTML形式には、リンク先の表示も保存されています。これをクリックするとインターネットに接続してリンク先に移動することができます。

ホームページをテキスト形式で保存

「名前を付けて保存」を行うときに、ファイルの種類で「Textファイル」を選べば、ホームページの本文だけがテキスト形式で保存されます。

## ホームページの画像の保存

同じように画像であっても、本文中に位置づけられている画像と、本文の下にある背景の画像は、HTML形式では区別して扱われているので、保存の方法が異なります。



### 画像を保存する

保存したい画像をクイックポイントで右クリックして表示されるメニューの「名前を付けて画像を保存」を選んで行います。保存するファイルの種類は、その画像に合わせて「JPEG」ファイルが「GIF」ファイルになっていますが、「ビットマップ」ファイルでも保存できます。

### 背景の画像

ホームページの本文中の画像や、リンク先のマークのない所を右クリックして表示されるメニューの「名前を付けて背景を保存」を選んで行います。保存できるファイルの種類は、画像と同様です。

## ホームページの関連する全体を保存する

ホームページを画像や背景を含んだ状態で保存する場合は、「お気に入り」メニューの「お気に入りの追加」を選んで、購読機能を設定して行います。リンク先のホームページまで含めて保存する場合も、購読機能を設定して行います。

## ホームページを印刷する

本パソコンにプリンタを接続すれば、興味のあるホームページを見つけたときに、その場で印刷することができます。

プリンタの接続方法は・・・▶『本体&オプションガイド』の「プリンタを使う」

- 1 印刷したいホームページを表示する。
- 2 「ファイル」メニューで「印刷」をクリックする。  
「印刷」ウィンドウが表示されます。

フレーム形式で表示されているホームページを印刷するときは、どの部分を印刷するか選ぶことができます。フレーム形式になっていないホームページでは、全体をひとまとめで印刷します。





表示されたとおり印刷...ページを表示された状態で印刷します。  
選択されたフレームのみを印刷...選択されているフレームを印刷します。  
すべてのフレームを個々に印刷...ホームページを各フレームごとに分割して印刷します。

### アドバイス

選択したフレームのみ印刷したい場合は

印刷したいフレームの中で、画像やリンク先のマークのない所を右クリックし、メニューから「印刷」をクリックします。

- 3 「プリンタ名」の右の  をクリックし、一覧からお使いのプリンタ名をクリックします。
- 4 必要に応じて、「印刷範囲」や「印刷部数」を入力します。
- 5 フレーム形式で表示されているホームページの場合は、「フレームの印刷」欄で、印刷方法をクリックして  にします。
- 6 「OK」をクリックします。  
印刷が開始されます。

## ホームページを活用する

### ホームページのデータをアプリケーションの文書などに貼り付ける


ホームページに表示されている文章や画像は、ドラッグ&ドロップで簡単に、アプリケーションの文書などに貼り付けることができます。

ただし画像の場合は、貼り付ける文書が、ワードパッドの文書のように画像の貼り付けに対応していることが必要です。

- 1 あらかじめ、貼り付けるワードパッドなどの文書を開いておきます。
- 2 文章の場合は、貼り付けたい範囲を選択して、反転状態にします。
- 3 貼り付けたい文章か画像を、タスクバーのアプリケーションのボタンへドラッグして少し待ちます。
- 4 アプリケーションのウィンドウが表示されるので、貼り付けたい箇所左ボタンを離します。

### ホームページの必要な範囲を印刷する

ホームページの全体ではなく、文章や画像など必要な範囲を選択して印刷することができます。

- 1 印刷したい範囲を選択して、反転状態にします。
- 2 反転状態にした箇所を右クリックして、表示されるメニューの「印刷」をクリックします。
- 3 「印刷」ウィンドウの「印刷範囲」で、「選択した部分」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。

### ホームページを早く見るには(画像の表示をOFF)

回線が混雑していたりすると、大きな画像のあるホームページは、表示に時間がかかります。画像やアニメーションを表示しないようにすると、ページを早く表示できます。

- 1 Internet Explorerの「表示」メニューの「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「インターネットオプション」ウィンドウの「詳細設定」タブをクリックします。
- 3 「マルチメディア」という項目グループの中の「画像の表示」と「アニメーションの再生」をクリックして  にします。

# Eメールを利用する



ここでは、「Outlook Express」を使用して、インターネットで電子メールを送受信する方法について説明します。

## Outlook Express を使うための接続の設定

次の場合は、すでに接続の設定が済んでいます




- ・「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」を使ってInfoWebに加入した場合
- ・「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」のダイヤルアップ設定で設定を行った場合
- ・「インターネット接続ウィザード」でインターネットへの接続とメールの設定を行った場合

接続の設定が済んでいない場合は

初めてOutlook Expressを起動したときに表示されるメッセージに従って設定してください。

## 初期設定を変更する

プロバイダに電話をかけてインターネットに接続する場合(ダイヤルアップ接続)に合わせてOutlook Expressを使いやすくするために、初期設定を変更します。

デスクトップに  (Outlook Express) がなく、 (インターネットに接続) がある場合は、「Internet ExplorerとOutlook Expressのアイコンを表示」(▶ P.41) をご覧になって  に変えてください。

### 1 デスクトップの (Outlook Express) をクリックします。

「Outlook Express」ウィンドウが表示されます。

#### **アドバイス**

「Outlook Express フォルダを作成する場所を選択してください。」と表示されたときは「OK」をクリックします。

「ダイヤルする接続を選択してください」と表示されたときは

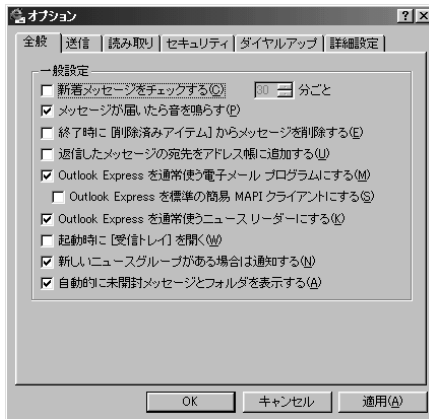
「接続へダイヤルしない」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。

## 2 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。



## 3 「新着メッセージをチェックする」をクリックし にします。

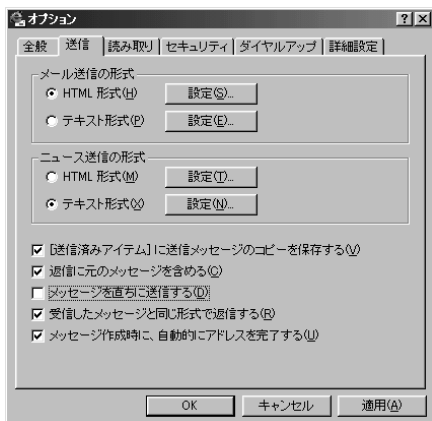
これを  のままにすると、インターネットに接続しているときは、メールの送受信を一定間隔で自動的に行います。



## 4 「起動時に [受信トレイ] を開く」をクリックし にします。

## 5 「送信」タブをクリックします。

- 6 「メッセージを直ちに送信する」をクリックし  にします。



これで複数のメールを作成してから、まとめて送れるようになります。

- 7 「ダイヤルアップ」タブをクリックします。
- 8 「Outlook Express の起動時」欄の「ダイヤルしない」をクリックし  にします。
- 「ダイヤルを確認する」を  にしておくと、起動するたびに「ダイヤルする接続を選択してください」というウィンドウが表示されます。
- 9 「OK」をクリックします。

「Outlook Express」ウィンドウに戻ります。  
これで、初期設定の変更が終了しました。

## メールを作って送る

### アドバイス

#### メールの書式

- 標準では、メールの書式は「リッチテキスト (HTML)」形式になっています。HTML形式の場合、文字の書体や色を指定したり、画像や背景を挿入することができます。
- メールを受信する相手がHTML形式に対応したメールソフト(たとえば Outlook Express)を使用していないと、メールを読むことができません。相手が使用しているメールソフトで正しく表示されるかどうかがわからないときは、テキスト形式でメッセージを作成することをお勧めします。





4 「件名」の右の欄にメールの題名を入力します。

ウィンドウのタイトルが入力した件名に変わります。

**アドバイス** .....

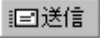
**件名に使用する文字種類**


件名は漢字やひらがな、または半角の英数字で入力してください。

半角のカタカナは使用しないでください。  
.....

5 メール本文の入力欄に送信したいメッセージを入力します。


メッセージは、全角文字や半角の英数字で入力してください。半角のカタカナは使用しないでください。

6 メールを作成しているウィンドウのツールバーにある  (送信) をクリックします。

すぐに送信だけ行うときは、「ファイル」メニューの「送信」をクリックします。ツールバーの  (送信) をクリックしたときは、「メールの送信」のウィンドウが表示されます。

7 「メールの送信」のウィンドウで「OK」をクリックします。

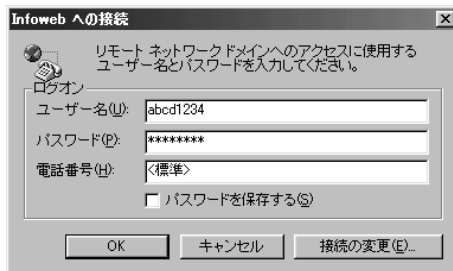
作成したメッセージが、送信トレイに保存されます。

8 「受信トレイ-.....」のウィンドウのツールバーにある  (送受信) をクリックします。

「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されたときは、「はい」をクリックします。

「.....への接続」のウィンドウが表示されます。「.....」の部分には、インターネット接続設定に付けた名前が表示されます。

9 インターネットへ接続する際のパスワードを入力し「OK」をクリックします。



メールを送信するためにプロバイダに電話をかける処理が始まります。


インターネットに接続すると送信が行われ、受信サーバーに接続するための「ログオン」のウィンドウが表示されます。

**アドバイス**

「ダイヤルアップ ネットワーク接続を確立できません。」と表示されたときは表示されているエラー内容を確認してから、「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

「要求されたタスクを処理中に、エラーが発生しました。」と表示されたときはプロバイダに接続できなかったときに表示されます。

次のように操作してください。

- 1 「詳細」をクリックし「エラー」タブをクリックして、エラーの内容を確認します。
- 2 「非表示」をクリックしてウィンドウを閉じます。
- 3 処置が必要なエラーであれば処置を行います。
- 4 再度ツールバーの  (送受信) をクリックします。

**10** 「ユーザー名」と「パスワード」を入力して「OK」をクリックします。

「ユーザー名」にはプロバイダから通知されたメールアドレス、「パスワード」にはメールアドレスのパスワードを入力し、「パスワードを保存する」をクリックして  にします。




受信の状態を示すウィンドウが表示され、メールの受信が行われます。

**アドバイス**

次回からパスワードの入力は一回だけになる

- ・初めてOutlook Expressでインターネットに接続したときだけ、インターネットに接続するときと受信サーバーに接続するときの両方でパスワードを入力します。
- ・次回からは、インターネットに接続したときだけパスワードを入力します。

**11** タスクバーの  をダブルクリックして「.....に接続」のウィンドウを表示し、「切断」をクリックします。



電話回線への接続が切れます。これで、メールの送信が終了しました。

### アドバイス

送受信が完了したときに接続を自動で切るには

- 1 「Outlook Express」ウィンドウの「ツール」メニューで「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「ダイヤルアップ」タブで「送受信またはダウンロードが終了したら切断する」をクリックして  にします。


## メールを受け取る

- 1 デスクトップの  (Outlook Express) をクリックします。  
「受信トレイ-...」ウィンドウが表示されます。
- 2 ツールバーの  (送受信) をクリックします。  
「オフラインで作業しています。オンラインに切り替えますか?」と表示されたときは、「はい」をクリックします。  
「.....への接続」のウィンドウが表示されます。
- 3 インターネットへ接続する際のパスワードを入力し「OK」をクリックします。  
メールを送受信するために、プロバイダに電話をかけ、接続すると送受信の状態を示すウィンドウが表示され、メールの送受信が行われます。

### アドバイス

以下のメッセージやウィンドウが表示されたときは

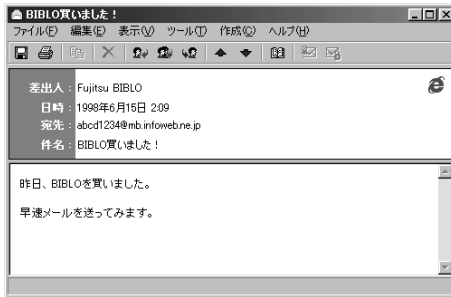
- 「メールの作成と送信 ( ●▶ P.55 ) をご覧ください。
- ・「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」
  - ・「要求されたタスクを処理中に、エラーが発生しました。」
  - ・「ログオン」のウィンドウ  
初めてOutlook Expressでインターネットに接続したときだけ、インターネットに接続した後に、受信サーバーに接続するための「ログオン」のウィンドウが表示されます。

- 4 タスクバーの  をダブルクリックして「.....に接続」のウィンドウを表示し、「切断」をクリックします。  
これで電話回線への接続が切れ、Outlook Expressの「受信トレイ」ウィンドウ内に、受信したメールの一覧が表示されます。

## 5 読みたいメールをダブルクリックします。



受信したメールの件名がタイトルになっているウィンドウに、メールの内容が表示されます。



### アドバイス

受信したメールに対して返事を出すには

- ・「作成」メニューの「差出人へ返信」をクリックすると、返信メールを作成することができます。
- ・返信メールの宛先には、受信メールの差出人アドレスが自動的に入力されます。
- ・返信メールのメッセージには、受信したメールが自動的に引用されます。

メールの差出人や宛先をアドレス帳に登録する

- 1 「受信フォルダ」や「送信済みアイテム」などのメールをクリックし、開いたウィンドウで「ツール」メニューの「アドレス帳に追加」にマウスポインタを合わせ、「差出人」が宛先の名前をクリックします。
- 2 アドレスを入力する画面が表示されるので、名前を分かりやすいものに変更します。

## 「受信トレイ」や「送信トレイ」のウィンドウの見かた

- ・「Outlook Express」ウィンドウの左側には、「受信トレイ」「送信トレイ」「送信済みアイテム」などのフォルダがあります。
- ・フォルダのアイコンをクリックすれば、表示するフォルダを選択することができます。



### 未開封のメール

標準の設定では、プレビューウィンドウで5秒以上表示すると開封済みになります。

### 開封済みのメール

「表示」メニューの「現在のビュー」で「未開封メッセージ」を選べると、開封済みメールはフォルダに表示されなくなります。

### 添付ファイルありのしるし

表示するトレイを切り替える

重要度を示す欄

赤の↑が重要度が高く、黒の↓が低い、無じるしが通常です。

タイトル欄

各項目をクリックするたびに、その項目で昇順・降順に並び換えが行われます。

プレビューウィンドウ

上の一覧で選択しているものの中身を表示します。

未開封メールの数

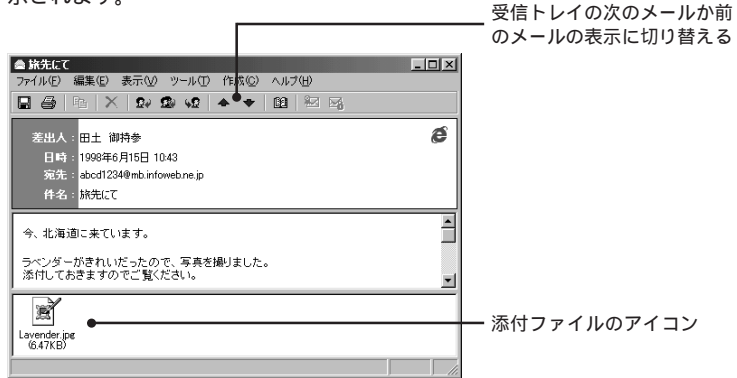
フォルダ名の右に青の数字があれば、そのフォルダにある未開封メールの数です。

- ・受信したメールは自動的に「受信トレイ」の中に保存されます。
- ・メッセージを作成したウィンドウのツールバーの「送信」をクリックすると、いったん「送信トレイ」の中に保存されます。

- ・「送受信」をクリックして送信すると、送ったメールの控えが「送信済みアイテム」の中に保存されます。エラーなどで送信できなかった場合は、「送信トレイ」の中に保存されたままになります。

## 受信メールのウィンドウの見かた

受信トレイの各メールをダブルクリックすると、受信メールのウィンドウが表示されます。



## 受信したEメールを整理する

頻繁にEメールを利用するようになると、「受信トレイ」に受信したメールがたまり、目的のメールを見つけるのが難しくなります。目的ごとにフォルダを作り、受信したメールを仕事の種類や相手によって分類しておけば、簡単に探し出すことができ便利です。

分類用のフォルダを作成するには


「受信トレイ-.....」ウィンドウの「ファイル」メニューの「フォルダ」にマウスポインタを合わせ、「フォルダの作成」をクリックします。

メールを移動またはコピーするには

「受信トレイ-.....」ウィンドウで移動またはコピーしたいメールをクリックし、「編集」メニューの「フォルダへ移動」または「フォルダへコピー」をクリックします。

### メールアドレスをアドレス帳に登録する

登録しておけば、メールアドレスをいちいち入力しなくて済みます。

- 1 「ツール」メニューの「アドレス帳」をクリックして、「アドレス帳」のウィンドウを表示します。
- 2 「アドレス帳」ウィンドウのツールバーにある  (新規の連絡先) をクリックすると、新しいアドレスを追加できます。

### メールアドレスの入力をアドレス帳で行う

送りたい相手を選ぶだけで、メールアドレスが入力できます。

- 1 「メッセージの作成」ウィンドウの「ツール」メニューにある「受信者の選択」をクリックして、登録したアドレスの一覧を表示します。
- 2 登録したアドレスの一覧で送りたい相手をクリックして反転させてから、「宛先」をクリックします。  
選んだ相手が「メッセージの受信者」欄に表示されます。
- 3 「OK」をクリックします。

「メッセージの作成」ウィンドウの「宛先」欄に相手の名前が表示され、アドレスが入力されます。



### 受信後もメールをサーバーに残す

標準の設定では、メールをサーバーから受信すると、サーバーのメールは削除されます。サーバーにメールを残すには次のように設定します。ただし、プロバイダによっては、メールをサーバーに残すことを禁止している場合もあるので、確認してください。

- 1 「受信トレイ-.....」ウィンドウの「ツール」メニューの「アカウント」をクリックします。
- 2 「インターネット アカウント」ウィンドウの「メール」タブをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 3 「.....のプロパティ」の「詳細設定」タブをクリックします。

「.....」にはご利用のメールアカウントにつけられている名前、たとえば「mb.infoweb.ne.jp」が入ります。

- 4 「配信」欄の「サーバーにメッセージのコピーを置く」をクリックして  にします。



- 5 「.....のプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。  
 6 「インターネット アカウント」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。  
 以上で、サーバーにメッセージが残るようになります。

#### アドバイス

##### サーバーのメールを削除するには

サーバーにメールを残すと、受信のたびにサーバー側とパソコン側のメールが照合され、余分な時間がかかります。

「詳細設定」タブの「削除済みアイテム」から...削除」に  を付けておけば、「削除済みアイテム」のフォルダからメールを削除するとサーバーからも削除されます。

#### 自分からのメールであることを示す署名を入れる


メールを送った相手に分かるのは、こちらのメールアドレスとメールアドレスに付けた名前だけです。

誰からのメールかははっきり分かるように、署名を入れることをお勧めします。

- 1 「受信トレイ-.....」ウィンドウの「ツール」メニューの「ひな形」をクリックします。
- 2 「ひな形」ウィンドウで「メール」タブの「署名」をクリックします。





3 「署名」ウィンドウの「すべての送信メッセージにこの署名を追加する」の下の「テキスト」をクリックし  にします。

4 「テキスト」の右の空欄をクリックして、署名の内容を入力します。

ご自分の名前と連絡方法(メールアドレス、電話番号など)を入力するとよいでしょう。

例: 山田ピブ朗

住所 〒XXX-XX 神奈川県川崎市中原区...

Tel 044-XXX-XXXX

メールアドレス XXXX@XXXX

5 「すべての送信メッセージにこの署名を追加する」をクリックして  にします。

6 「返送と転送には署名を追加しない」をクリックして  にして「OK」をクリックします。

7 「ひな形」ウィンドウの「OK」をクリックします。

以上で、どの送信メッセージにも、自分の署名(名前と連絡先)が入るようになります。「Outlook Express」のウィンドウで「メッセージの作成」をクリックして試してみてください。

## 同じ文面のメールを複数の相手に送るときは

特定の人にメールを送る場合と、ある人に送るメールの写し(cc:カーボンコピー)を他の人にも送る場合とで、送り先の指定のしかたが違います。

- 特定の人にメールを送る場合は、「宛先」の欄にメールアドレスを入力します。複数の人に送る場合は、「宛先」の欄に、メールアドレスの間を半角の「;」(セミコロン)で区切って入力します。
- メールの写しを送る場合は、「CC」の欄にメールアドレスを入力します。複数の人に写しを送る場合は、「CC」の欄に、それぞれのメールアドレスの間を半角の「;」(セミコロン)で区切って入力します。

## メールにファイルを添付して送る

送りたいファイルのアイコンを、「メッセージの作成」ウィンドウの本文を入力する欄にドラッグします。

## 添付されたファイルを使用する

- 添付ファイルがアプリケーションで作成したデータである場合は、同じアプリケーションがあれば、受信トレイや受信メールのウィンドウで、添付ファイルをダブルクリックすると、ウィンドウに表示できます。
- 添付ファイルのアイコンを、デスクトップやフォルダにドラッグするとコピーできます。
- 添付ファイルのアイコンを右クリックし、メニューから「名前をつけて保存」を選択すると、保存できます。



## インターネットに接続できないときは

ここでは、インターネットを使っていてトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

電話がかからないときには、まずモジュラーケーブルなどが正しく接続されているかを確認します。接続のしかたについては、『本体&オプションガイド』の「電話回線に接続する」をご覧ください。

また、通信状態が不安定だったり、回線が混み合っていたりして電話がかかりにくくなっている場合があります。この場合には、アクセスポイントを別の場所に変更したり、しばらく時間をおいてから、もう一度接続を行ってください。

それでも接続できない場合には、次の順に接続や設定の確認を行ってください。

- ・モデムは使える状態になっていますか？
- ・所在地情報の設定は正しく行われていますか？
- ・インターネットの設定は正しく行われていますか？

### アドバイス

アクセスポイントの変更方法は

「インターネットへの接続設定を調整する」(▶▶ P.35)をご覧ください。


InfoWebでは、アクセスポイントの空き状況をホームページで確認できます。

## モデムと所在地情報の設定の確認

モデムの状態と所在地情報の設定内容を確認します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。

「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。

- 2  (モデム)をクリックします。

「モデムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。

直前のインターネットへの接続時に使用された所在地情報が表示されます。

### アドバイス

同じモデム名が2つ表示されたときは

「Fujitsu LB RWModem V.90 56K J」など同じモデム名が重複してあるときは、2つとも削除して、本パソコンを再起動してください。

- 4 国名/地域、市外局番、外線発信番号、ダイヤル方法を確認し、「OK」をクリックします。  
設定が間違っていたら、入力し直してください。
  - ・「市外局番」をアクセスポイントの市外局番と同じにしていると、市内通話と見なされ、市外局番がダイヤルされません。
  - ・携帯電話やPHS、公衆電話からインターネットに接続するときは、外線発信番号なしで、ダイヤル方法をトーンにする必要があります。
  - ・携帯電話やPHSでは、常に市外局番をダイヤルしないと接続できません。「市外局番」を携帯電話やPHSの局番に設定してください。
- 5 「検出結果」タブをクリックし、使用するモデムや接続カードのあるポートをクリックします。
- 6 「詳細情報」をクリックして、モデムから応答があることを確認します。  
ここで応答があればモデムや接続カードは正常に動作しています。
- 7 「詳細情報」ウィンドウの「OK」をクリックします。
- 8 「モデムのプロパティ」ウィンドウの「OK」をクリックします。

## インターネットへの接続設定の確認

インターネットへの接続設定が正しく行われているか、確認します。



### アドバイス

InfoWebを利用している場合

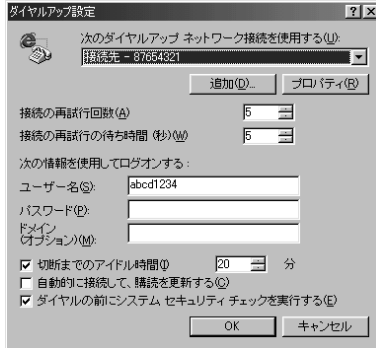
『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』をご覧ください。

## Internet Explorerで接続できない場合

Internet Explorerの設定と、Internet Explorerが使用しているインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続設定)を確認します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。  
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2  (インターネット)をクリックします。  
「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「接続」タブをクリックします。
- 4 「モデムを使用してインターネットに接続」が  になっているか確認し、その右にある「設定」をクリックします。  
「ダイヤルアップ設定」ウィンドウが表示されます。

- 5 「次の情報を使用してログオンする」の「ユーザー名」を確認します。
- 「ユーザー名」には、インターネットに接続するためのアカウントが表示されていることが必要です。
- 「パスワード」を入力しているときは、インターネットアカウントのパスワードであることが必要です。




- 6 「次のダイヤルアップネットワーク接続を使用する」の名前を確認します。
- この欄にはInternet Explorerが使用しているインターネット接続設定の名前が表示されています。
- 7 「次のダイヤルアップ...」の下の「プロパティ」をクリックします。
- インターネット接続設定の内容を確認します。
- 「インターネットへの接続設定を調整する( \*\*▶ P.35 )」をご覧ください。設定内容を確認してください。

確認後は、インターネット接続設定のプロパティウィンドウ、「ダイヤルアップ設定」ウィンドウ、「インターネットのプロパティ」ウィンドウのそれぞれで「OK」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

## Outlook Express で接続できない場合

Outlook Express の設定と、使用しているインターネット接続設定(ダイヤルアップ接続設定)の内容を確認します。

- 1 デスクトップの  (Outlook Express) をクリックし、「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。
- 「インターネットアカウント」ウィンドウが表示されます。
- 2 「メール」タブをクリックし、確認するメールアカウントをクリックし、「プロパティ」をクリックします。
- 選択したメールアカウントの「プロパティ」のウィンドウが表示されます。

3 「サーバー」タブをクリックします。


4 メールサーバーとメールアカウントを確認します。

「サーバー情報」の各欄に送信メールサーバーと受信メールサーバーの名前が正しく表示されていることが必要です。

「アカウント」は、メールアカウントを入力します。インターネットアカウントと異なる場合は、間違わないようにしてください。



5 「接続」タブをクリックします。

「接続」の「電話回線」がになっていることを確認します。

6 「次のダイヤルアップ接続を使用する」の下の名前を確認します。

この欄に表示されているのが、Outlook Expressが接続に使用しているインターネット接続設定です。

7 「次のダイヤルアップ...」の下の「プロパティ」をクリックします。

インターネット接続設定の内容を確認します。

「インターネットへの接続設定を調整する」(▶▶ P.35)をご覧ください。設定内容を確認してください。

確認後は、インターネット接続設定のプロパティウィンドウ、メールアカウントの「プロパティ」ウィンドウのそれぞれで「OK」をクリックしてウィンドウを閉じ、「インターネットアカウント」ウィンドウの「閉じる」をクリックして、ウィンドウを閉じてください。

## インターネット接続設定で接続できない

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウのインターネット接続設定をクリックして接続できない場合は、その設定内容を確認します。

「インターネットへの接続設定を調整する」(▶▶ P.35)をご覧ください。設定内容を確認してください。

## 外出先でインターネットを使う

出張先や帰省先でもメールをチェックする、そんなときのために、  
外出先や携帯電話から  
インターネットに接続するときの操作を説明します。



この章では、次の内容を説明しています。

- 外出先用のインターネット接続設定を作成する( ●▶ P.70 )
- 外出先や携帯電話用の設定を使って接続する( ●▶ P.73 )
- Internet Explorerだけで接続できるようにする( ●▶ P.76 )
- Outlook Expressだけで接続できるようにする( ●▶ P.77 )

# 外出先の電話回線や 携帯電話からの接続の設定



## 外出先でのインターネットへの接続

本パソコンで、外出先からインターネットに接続するときには、次の方法がご利用になれます。

- ・ 外出先の室内の電話回線を使って接続する
- ・ 携帯電話やPHSを使って接続する
- ・ ISDN 公衆電話を使って接続する

## InfoWeb を外出先で利用する

次の順に操作を行うと、外出先や携帯電話からインターネットを使うことができます。

### 携帯電話やPHSを接続する

携帯電話やPHSを使うときは、これらを本パソコンに接続して、通信ができる状態にします。

- ▶『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」



### 外出用や携帯電話用の接続設定を作成する

「はじめよう！インターネット(InfoWeb)」の「ダイヤルアップ設定」の「アクセスポイントの変更」で設定します。

- ▶『はじめよう！インターネット(InfoWeb)』

設定の注意事項

- ・ これまで利用していたインターネット接続設定を今後も使う場合は、「アクセスポイントの変更」を終了するときに、接続名を変更してください。
- ・ これまで利用していないアクセスポイントを使う場合は、本体の内蔵モデムに電話回線を接続すれば、最新のアクセスポイントをダウンロードできます。
- ・ PIAFS対応のPHSを使うときは、アクセスポイントは現在のアクセスポイント一覧から仮のものを選び、次の でPIAFS対応のアクセスポイントに変更します。



### インターネット接続設定を確認し変更する

- ・使用するモデムの機種、アクセスポイントの電話番号、その他の細かな設定を確認し、必要があれば変更します。
- ・PIAFS 対応の PHS を使うときは、必ず接続先の電話番号をPIAFS 対応のアクセスポイントに変更します。
- ▶「インターネットへの接続設定を調整する」( P.35 )



### 専用のインターネット接続設定を使って接続する

- 外出用や携帯電話用のインターネット接続設定を使用して、インターネットに接続します。
- ▶「専用の接続設定を使って接続する」( P.73 )



### Internet Explorer や Outlook Express を利用する

Internet Explorer や Outlook Express を利用します。

## 他のプロバイダを外出先で利用する

次の順に操作を行うと、外出先や携帯電話からインターネットを使うことができます。

### 携帯電話やPHSを接続する

- 携帯電話やPHSを接続に使うときは、これらを本パソコンに接続して、通信ができる状態にします。
- ▶『本体 & オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」



### 外出用や携帯電話用の接続設定を作成する

- インターネット接続ウィザードで、専用の接続設定を作成します。
- ▶「すでに他のプロバイダに加入しているときは」( P.25 )

#### 設定の注意事項

- ・これまで利用していたインターネット接続設定を今後も使う場合は、手順 ( P.26 ) で「新規にダイヤルアップ接続を行う」を選択してください。





### インターネット接続設定を確認し変更する

使用するモデムの機種、アクセスポイントの電話番号、その他の細かな設定を確認し、必要があれば変更します。

●▶「インターネットへの接続設定を調整する」(P.35)



### 専用のインターネット接続設定を使って接続する

外出用や携帯電話用のインターネット接続設定を使用して、インターネットに接続します。

●▶「専用の接続設定を使って接続する」(P.73)



### Internet ExplorerやOutlook Expressを利用する

Internet ExplorerやOutlook Expressを利用します。

### アドバイス

専用の接続設定でなくInternet Explorerで接続するには

以上の設定を行うと専用の接続設定でインターネットに接続してから、Internet ExplorerやOutlook Expressを起動して使うことになります。

専用の接続設定を起動せずに、Internet ExplorerやOutlook Expressだけを起動して、インターネットに接続したいときは、以上の設定を行ってから、「外出先からInternet Explorerで接続する」(●▶P.76)をご覧ください。

### コラム

「インターネット接続設定」とは

- ・ インターネットへの接続に使用する設定です。  
アクセスポイントに電話をかけ、プロバイダのサーバーに接続して、インターネットのネットワークに入るまでの設定を含んでいます。  
主な設定内容は、アクセスポイントの電話番号、使用するモデム、接続先のネットワークに入るための情報(プロトコル)などです。
- ・ インターネット接続設定は、Windows98の「ダイヤルアップ接続」の機能を使用した設定です。作成した接続設定は、「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウに、アイコンとして表示されます。
- ・ 本書では、「インターネットへの接続設定」、「インターネット接続の設定」、あるいは「接続設定」などの表現で記載します。



## 外出先や携帯電話で接続する

ここでは、外出先や携帯電話から接続するために作成しておいたインターネット接続設定を使用して、インターネットに接続するときの操作を説明します。

### 専用の接続設定を使って接続する

外出先や携帯電話からインターネットに接続しましょう。

あらかじめ「外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定」( ●▶ P.70 )の操作を行ってください。

また、アクセスポイントへの電話のかけかたを決める所在地情報を、外出先や携帯電話に合わせて作成しておく、スムーズに接続することができます。



操作方法は ●▶ 『本体&オプションガイド』の「所在地情報の設定と切り替え」

### 操作方法

- 1 室内の電話回線または、デジタル携帯電話やPHSを本パソコンに接続します。

携帯電話の接続方法は ●▶ 『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」

デジタル携帯電話やPHSの電源を入れてください。

- 2 デスクトップの  (マイコンピュータ) をクリックし、 (ダイヤルアップネットワーク) をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク」ウィンドウが表示されます。

- 3 使用するインターネット接続設定  をクリックします。

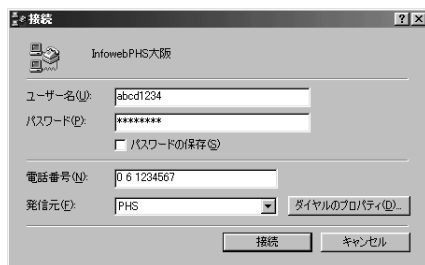
接続設定は、最寄りのアクセスポイントやデジタル携帯電話、またはPHSなどのために作成したものを使用します。



「接続」ウィンドウが表示されます。

#### 4 ユーザー名やパスワードを入力します。

「ユーザー名」には、インターネットへの接続のアカウントを入力する必要があります。インターネットアカウントとメールアカウントが別々の場合は気をつけてください。( ●▶ P.27 コラム)



#### 5 「電話番号」欄の番号を確認します。

「電話番号」欄の番号が、プロバイダに接続するときに実際にダイヤルされる電話番号です。

「電話番号」が使用するアクセスポイントのものであるか、市外局番や外線発信番号の有無が適切か確認します。正しければ手順6に進んでください。

市外局番や外線発信番号が違っている場合

手順6で修正してください。


接続先の電話番号自体が違っている場合

正しい電話番号を設定したインターネット接続設定がある場合は、手順3に戻って選び直してください。

ない場合は、「インターネットへの接続設定を調整する」( ●▶ P.35 )をご覧ください。インターネット接続設定の電話番号を変更して、手順1からやり直してください。

#### アドバイス

外出用や携帯電話用の所在地情報があるときは

あらかじめ、外出先用や携帯電話用に市外局番や外線発信番号、ダイヤル方法を正しく設定した所在地情報が作成してある場合は、「発信元」の右の  をクリックして、それを選び、接続する手順8に進んでください。

#### 6 「ダイヤルのプロパティ」をクリックし、市外局番や外線発信番号、ダイヤル方法を確認し設定します。

使用する電話に合わせて、ダイヤル方法をトーンとパルスのどちらか正しいほうに設定します。

市外局番や外線発信番号の設定が間違っている場合は、設定し直します。

**アドバイス****携帯電話、PHS、公衆電話で接続するときは**

携帯電話やPHS、公衆電話から接続するときは、外線発信番号なしで、ダイヤル方法をトーンにします。

**内線電話から接続するときは**

会社、ホテルなど内線電話から接続するときは、外線につなぐためにダイヤルする番号(0など)を「外線発信番号」に設定します。

**「電話番号が変更されています」が表示されたときは**

「ダイヤルのプロパティ」をクリックする前に、「接続」ウィンドウの「電話番号」を変更したため表示されます。


- ・「接続」ウィンドウで行った電話番号の変更は取り消して所在地情報を変更するときは、「OK」をクリックします。
- ・所在地情報を変えずに、「接続」ウィンドウで変更した電話番号でダイヤルするときは、「キャンセル」をクリックします。この場合、次回の接続では、電話番号が変更前のものにに戻ります。



**7 所在地情報の設定が終了したら「OK」をクリックします。**


設定内容を変更したときは所在地情報の名前を付け直してから、「OK」をクリックしてください。


**8 「接続」をクリックします。**

接続中のウィンドウが表示され、接続中の状況が示されます。

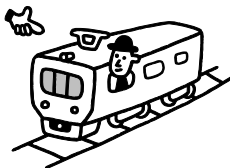
接続が完了すると、「現在.....に接続しています。」のウィンドウが表示され、タスクバーにが表示されます。

**9 デスクトップの (Internet Explorer) または  (Outlook Express) をクリックします。**

 (Outlook Express) をクリックしたときは、「ダイヤルアップネットワーク接続で既に '.....' に接続しています。」が表示される場合があります。

このときは「現在、接続中のサーバーを探す」をクリックしてにし、「OK」をクリックします。

Internet ExplorerまたはOutlook Expressが起動して、スタートページや受信トレイが表示されます。




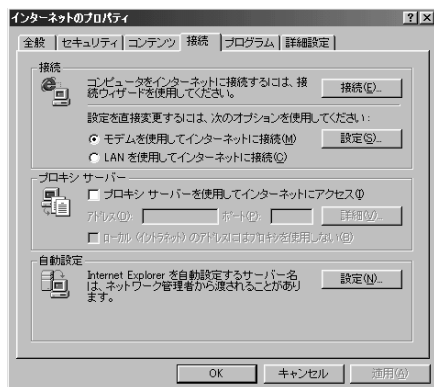
## 外出先から Internet Explorerで接続する

ここでは、外出先や携帯電話からでも、インターネット エクスプローラ  
Internet ExplorerやOutlook Expressを直接起動してインターネットに接続できるようにします。  
あらかじめ外出先や携帯電話用のインターネット接続設定を作成しておく  
ことが必要です。●▶「外出先の電話回線や携帯電話からの接続の設定」(P.70)

### Internet Explorerで接続できるようにする


外出先や携帯電話からでも、Internet Explorerだけ起動すればインターネットに接続してホームページが表示できるようにします。

- 1 デスクトップの (Internet Explorer)を右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックします。  
「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「接続」タブをクリックし、「モデムを使用してインターネットに接続」の右にある「設定」をクリックします。

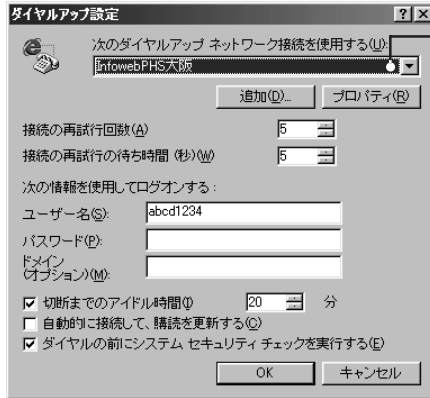


「ダイヤルアップ設定」ウィンドウが表示されます。

「次のダイヤルアップネットワーク接続を使用する」の下に表示されているのが、現在Internet Explorerで使用しているインターネット接続設定です。

- 3 接続設定名の  をクリックし、一覧から使用する接続設定名をクリックして「OK」をクリックします。

接続設定は、外出先や携帯電話からインターネットに接続できるものを選びます。



Internet Explorer が使用しているインターネット接続設定の名前

「インターネットのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

- 4 「OK」をクリックする。

これで、Internet Explorer を起動するだけでインターネットに接続できるようになりました。

## Outlook Express で接続できるようにする

外出先や携帯電話からでも、Outlook Express だけを使ってインターネットに接続してメールをやりとりできるようにします。

- 1 デスクトップの  (Outlook Express) をクリックし、「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。

「インターネットアカウント」ウィンドウが表示されます。

- 2 「メール」タブをクリックして、使用するメールアカウントをクリックし、「プロパティ」をクリックします。



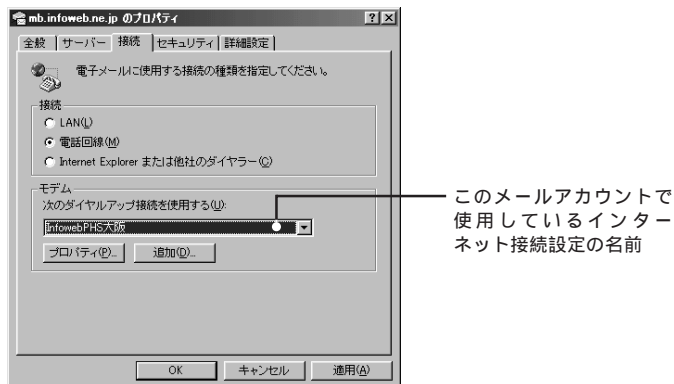
選択したメールアカウントの「プロパティ」のウィンドウが表示されます。

### 3 「接続」タブをクリックします。

「次のダイヤルアップ接続を使用する」の下に表示されているのが、このメールアドレスで使っているインターネット接続設定です。

### 4 接続設定名の▼をクリックし、一覧から使用する接続設定名をクリックして「OK」をクリックします。

接続設定は、外出先や携帯電話からインターネットに接続するのに使っているものを選びます。



「インターネットアカウント」ウィンドウに戻ります。

#### アドバイス

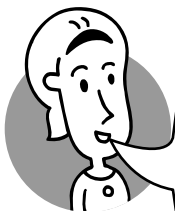
「接続」欄の「Internet Explorerまたは他社のダイヤラー」をクリックして☑にすると、Internet Explorerで使っているのと同じ接続設定を使用して、インターネットに接続できるようになります。これによって、ホームページを見たり、メールを送受信する作業を、「移動」メニューで簡単に切り替えることができます。

### 5 「閉じる」をクリックします。

これで、Outlook Express を起動してメールの送受信の操作を行うだけで、インターネットに接続できるようになりました。

## 他のパソコンと データを交換する

本パソコンを携帯してご使用になると、  
行く先々で他のパソコンとデータをやりとりする場面があるかも知れません。  
ここでは、本パソコンと他のパソコンとで  
データをやりとりする方法を説明します。



この章では、次の内容を説明しています。

- Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする  
( ●▶ P.80 )
- Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする  
( ●▶ P.87 )



# Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする



会社や自宅で使っているパソコンで作成したデータを本パソコンに転送したり、反対に本パソコンで加工したデータを他のパソコンに転送することができます。

本パソコンには、他のパソコンと直接データをやりとりするアプリケーションとして、Intellisyncがインストールされています。ここでは、Intellisyncを使うようにするための準備と設定について説明します。Intellisyncの操作方法について詳しくは、Intellisyncのマニュアルをご覧ください。

Intellisync以外の方法でのデータのやりとりについては、「Intellisync以外の方法でパソコンとデータをやりとりする」( ●▶ P.87 )にまとめて紹介しています。

## Intellisyncの使用に必要なハードウェア

Intellisyncを使うには、本パソコンと他のパソコンがデータをやりとりできるように、「IRコマンド」などの赤外線デバイスや、ケーブルを用意します。ケーブルを使う場合は、パラレル接続とシリアル接続とで、使用するケーブルが違います。

### 重要

#### 赤外線通信ポートで通信するときは

以下の点にご注意ください。

- データの通信中に、本パソコンや赤外線デバイスを動かすと、データ転送に失敗することがあります。
- 本パソコンをバッテリーで使用しているときは、本パソコンと赤外線デバイスとの距離を、離しすぎないようにしてください。
- 次のような場合、うまく通信できないことがあります。
  - \* 互いの赤外線通信ポートが真正面に向き合っていないとき
  - \* 互いの赤外線通信ポートが離れすぎている、間に遮蔽物があるとき
  - \* ACアダプタやCRTディスプレイが赤外線通信ポートの近くにあるとき
  - \* テレビ、ラジオなどのリモコンや、ワイヤレスヘッドホンが近くで動作しているとき
  - \* 赤外線通信ポートに、直射日光や蛍光灯、白熱灯などの強い光があたっているとき

**用語** 赤外線デバイス

ケーブルを使わずに、コンピュータ間でデータをやりとりするための装置。本パソコンには、赤外線デバイスとして赤外線通信ポートが内蔵されている。

**用語** パラレル接続

同時に複数のビットを並列して送受信する接続方法。PC/AT互換機では、特にパラレルコネクタによる接続方法のことをいう。プリンタにデータを送る場合は、パラレル接続によって行われることが多い。

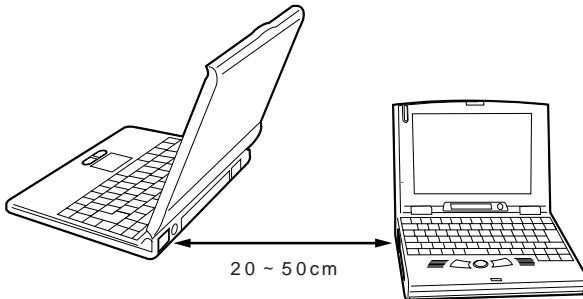
**用語** シリアル接続

データを1ビットずつ順番に送受信する接続方法。PC/AT互換機では、特にシリアルコネクタによる接続方法のことをいう。インターネットやパソコン通信など、モデムやTA(ターミナルアダプタ)を使った通信も、シリアル接続によって行われる。

**他のFMV-BIBLOと赤外線通信ポートで通信する場合**

FMV-BIBLOどうしてIntellisyncを使用して通信する場合には、特にケーブルやハードウェアを用意する必要はありません。

図のように、赤外線通信ポートどうしがまっすぐに向き合うように置いてください。赤外線通信ポート間の距離は、20～50cmでお使いください。



本パソコンの赤外線通信ポートは、左側面にあります。

**デスクトップパソコンと赤外線通信ポートで通信する場合**

デスクトップパソコンに「IRコマンド」などの赤外線デバイスを接続して、使用できるように設定しておく必要があります。

赤外線デバイスを購入するときは、あらかじめ、デスクトップパソコンとの接続方法や、シリアルコネクタのピン数を確認しておき、接続に必要なケーブル(「RS-232Cケーブル(ストレート)」など)も忘れずに購入してください。

通信時は、本パソコンの赤外線通信ポートが、デスクトップパソコンに接続された赤外線デバイスと向き合うように設置してください。赤外線通信ポートと赤外線デバイスとの距離は、20～50cmでお使いください。

## ● パラレルケーブルで接続して通信する場合

「パラレルケーブル(クロス)」など、コンピュータ直結ケーブルをご用意ください。また、接続するパソコンのパラレルコネクタのピン数も、必ず確認してください(本パソコンは、D-SUB 25pinです)。

接続するときは、本パソコンにコネクタボックスを取り付けて、互いのパラレルコネクタどうしを、用意したケーブルでつなぎます。パラレルコネクタは、「LPTポート」と呼ばれることもあります。

### 【アドバイス】

パラレルコネクタの位置は

『本体&オプションガイド』の「コネクタボックスを使う」をご覧ください。

## ● シリアルケーブルで接続して通信する場合

「RS-232Cケーブル(クロス)」など、コンピュータ直結ケーブルをご用意ください。また、接続するパソコンのシリアルコネクタのピン数も、必ず確認してください(本パソコンは、D-SUB 9pinです)。

接続するときは、本パソコンにコネクタボックスを取り付けて、互いのシリアルコネクタどうしを、用意したケーブルでつなぎます。シリアルコネクタは、「COMポート」または「RS-232Cポート」と呼ばれることもあります。

### 【アドバイス】

シリアルコネクタの位置は

『本体&オプションガイド』の「コネクタボックスを使う」をご覧ください。

## 標準モード(IrDA)で赤外線通信を行うときは

本パソコンのご購入時の設定では、赤外線通信ポートは「高速モード(Fast IR)」で動作するように設定されています。高速モードに対応していない赤外線デバイスと通信を行うときは、あらかじめBIOSセットアップの設定を変更してから、Intellisyncを起動して接続の設定を行ってください。

高速モード対応のFMV-BIBLOどうして通信するときや、シリアル接続やパラレル接続で通信する場合には、BIOSセットアップの設定を変更する必要はありません。

### 重要

BIOSセットアップの設定を変更するときは

本パソコンを再起動します。操作を行う前に、作業中のデータを保存して、使用中のアプリケーションを終了してください。

## 「IR コマンド」などの赤外線デバイスと通信するときの設定

BIOSセットアップを起動して、「詳細」メニューの「周辺機器設定」で、「シリアルポートB」の各設定を次のように変更してください。

シリアルポートB...「使用する」になっているか確認します。

モード...「IrDA」に設定します。

BIOSセットアップの起動方法や、設定のしかたについては、『本体&オプションガイド』の「第4章 ハードウェア環境を設定する(BIOSセットアップ)」をご覧ください。

### 重要

「IR コマンド」などで通信したあとは

「高速モード」で通信するように、設定を元に戻してください。BIOSセットアップを起動して、「詳細」メニューの「周辺機器設定」で、「シリアルポートB」の各設定を変更してください。ご購入時は次のようになっています。

モード...「FIR」

I/Oベースアドレス...「2E8」

割り込み...「IRQ3」

I/Oベースアドレス...「118」

DMAチャンネル...「DMA3」

## データ転送が行えるように設定する

ここでは、Intellisyncを起動してから、Intellisyncで通信をするための初期設定をします。Intellisyncでのデータ転送の操作については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。


なお、Intellisyncでデータのやりとりを行うには、相手のパソコンにもIntellisyncがインストールされている必要があります。

相手のパソコンにIntellisyncをインストールする場合は ●▶「Intellisyncの制限事項」(P.86)

### 確認

Windows 98のハードウェアウィザードで「赤外線デバイス」をインストールしているときは

Intellisyncを使用する前に、Windows 98が赤外線通信ポートを使用しないように、設定を変更する必要があります。

「コントロールパネル」ウィンドウの (赤外線モニタ)をクリックして、「赤外線モニタ」ウィンドウで「オプション」タブをクリックし、「赤外線通信を使用可能にする」をクリックしてにします。

## 接続の設定をする


- 1 通信をする2台のパソコンをケーブルで接続するか、赤外線通信を行える位置にセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「Intellisync」の順にマウスポインタを合わせ、「Intellisync エージェント」をクリックします。

「Intellisync へようこそ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「OK」をクリックします。

「Intellisync」ランチャーが表示されます。



- 4  (接続設定マネージャ)をクリックします。

「はじめに-接続セットアップマネージャ」ウィンドウが表示されます。

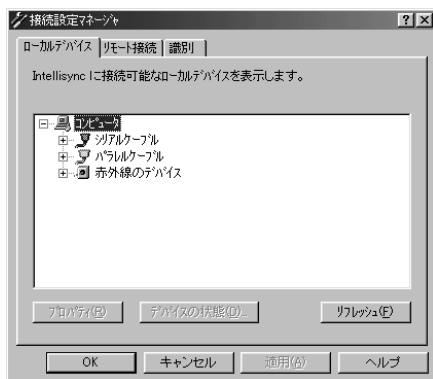
### アドバイス

「Intellisync 使用許諾同意書」ウィンドウが表示されたら

「承諾する」をクリックしてください。

- 5 「閉じる」をクリックします。

「接続設定マネージャ」ウィンドウが表示されます。



赤外線通信の場合は、手順8で確認する「接続を可能にする」が  になっているれば、接続したことを示す音がして、通信できるようになります。ファイル転送やシンク機能をご利用ください。

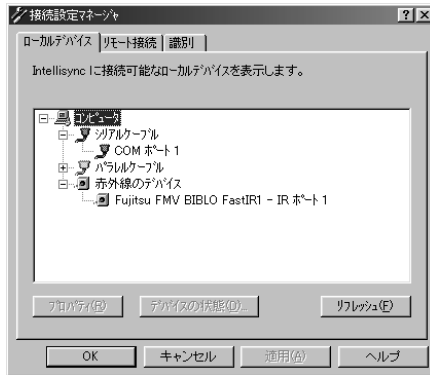
6 「識別」タブをクリックし、自分のコンピュータの通信時の名前を確認して、必要であれば変更します。

7 「ローカルデバイス」タブをクリックし、使用するデバイスとポートをダブルクリックします。

シリアル接続の場合は、「シリアルケーブル」をダブルクリックし、「COMポート1」をダブルクリックします。

パラレル接続の場合は、「パラレルケーブル」をダブルクリックし、「LPTポート1」をダブルクリックします。

赤外線通信の場合は、「赤外線デバイス」をダブルクリックし、「Fujitsu FMV BIBLO FastIR 1-IRポート1」をダブルクリックします。



選択した各ポートの「ポートのプロパティ」が表示されます。

8 「接続を可能にする」をクリックして  にします。

シリアル接続の場合、2台のパソコンで同じ転送速度を設定することが必要です。

「IRコマンド」など外部に接続した赤外線デバイスを使う場合は、「IRウィザード」をクリックして赤外線通信の設定を行うことが必要です。



- 9 設定を変更した場合は「OK」、設定を変更しなかった場合は、「キャンセル」をクリックします。

「接続設定マネージャ」ウィンドウに戻ります。

先頭に青信号が表示されているポートは接続されています。

- 10 送受信相手のパソコンの設定をします。

以上の手順2～9の操作を、送受信相手のパソコンで行います。

接続できたら、ファイル転送やシンク機能をご利用ください。

「接続設定マネージャ」ウィンドウの「リモート接続」タブをクリックすると接続しているパソコンの名前や状態を確認できます。

## Intellisyncの制限事項

Intellisyncには、次の制限事項があります。ご使用になる前に、確認してください。

- Windows 98を終了させる前に、必ずIntellisyncを終了させてください。
- データの通信中に、赤外線デバイスをふさいだりして、通信エラーが発生した場合は、Intellisyncをいったん終了させてから、再度行ってください。そのままお使いになると、正常に通信できないことがあります。
- Intellisyncのシンク機能では、全角のファイル名は指定しないでください。全角文字が含まれたファイルを指定すると、正しく動作しません。
- TranXit 3.0を搭載したパソコンと通信する場合は、Intellisyncの転送速度を115Kbpsに設定する必要があります。「IRウィザード」で「115200」を選んでください。  
なお、4Mbpsで通信したい場合は、TranXit 3.0を搭載したパソコンに、Intellisyncをインストールしてください。

### アドバイス

#### 転送速度について

本パソコンは、Intellisyncを搭載しており、最大4Mbpsの速度で通信できます。転送速度は、通信相手のパソコンにより異なります。

- TranXit 2.0などの115Kbpsのパソコンと通信する場合  
自動的に115Kbpsモードで接続されます。
- Intellisyncなどの4Mbpsのパソコンと通信する場合  
自動的に4Mbpsモードで接続されます。

#### 他のパソコンでのIntellisyncの一時的な使用

ファイル転送を行う場合、次の方法でIntellisyncを他のパソコンにインストールして一時的に使用することができます。

- 「プログラム」メニューの「Intellisync」の「メイクディスク」を選択すると、インストール用のフロッピーディスク(6枚)が作成できます。
- 「アプリケーションCD」からインストールすることができます。



## Intellisync 以外の方法で パソコンとデータをやりとりする

インテリシンク  
Intellisync以外の方法で、パソコンとデータをやりとりすることもできます。  
ここでは、それらの方法について簡単に紹介します。

### 【フロッピーディスクなどを使う】

本パソコンにフロッピーディスクユニットを接続して、データやファイルをフロッピーディスクにコピーすれば、別のパソコンとのデータのやりとりが簡単にできます。大量のデータをやりとりする場合には、別売のSCSIカード(PCカード)を取り付け、光磁気ディスクドライブなどを接続することもできます。

### 【インターネットやパソコン通信を利用する】

インターネットやパソコン通信も、パソコンとのデータ交換のツールとして利用することができます。

テキスト形式のデータなら、インターネットやパソコン通信の電子メールにして自分宛に送り、別のパソコンで受信すれば、データのやりとりができます。プログラムや画像などのバイナリ形式のデータをやりとりするには、ファイルをメールに添付して、自分のメールアドレス宛に送ります。

#### 用語 バイナリ形式

テキスト形式でないデータ形式を総称して「バイナリ形式」という。通常の電子メールでは、テキスト形式のデータをやりとりしており、バイナリ形式のデータはそのままでは読み取ることができない。プログラムや画像データの他、ワープロで作成したデータや、圧縮ソフトで圧縮されたファイルもバイナリ形式になっている。

### 【LANに接続する】

本パソコンを会社などのLANに接続すると、LAN上のパソコンどうしが、お互いを外付けのハードディスクドライブのように認識して、簡単にファイルのコピーや移動ができるようになります。ただし、LANに接続するためには、利用するLANの種類に応じたPCカードが必要になります。また、PCカードの設定方法もLANの種類や形態によって異なります。LANへの接続の前に、LANの管理をしている人(ネットワーク管理者)に相談してください。

#### 用語 LAN

Local Area Networkの略で「ラン」と読む。パソコンに限らず、同じ建物やフロアにある何台ものコンピュータを接続してネットワークを構成し、ファイルやプリンタなどを共有できるようにする仕組み。



## アプリケーションを使う

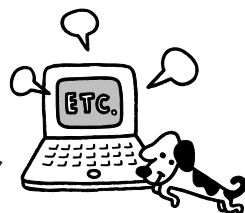
本パソコンには、電源を入れるとすぐに使える  
便利なアプリケーションがいくつか内蔵されています。  
ここでは、これらのアプリケーションの機能と使いかたを紹介します。



この章では、次の内容を説明しています。

- アプリケーションのご紹介 ( ●▶ P.90 )
- コンピュータウイルスを検査し除去する( VirusScan )  
( ●▶ P.92 )
- 10円メール( 携帯電話専用 )を使う( ●▶ P.95 )
- アプリケーションのインストールと削除 ( ●▶ P.102 )

# アプリケーションのご紹介



本パソコンには、便利なアプリケーションがいくつかインストールされています。ここでは、インストールされている主なアプリケーションを紹介します。

## インターネットエクスプローラ Internet Explorer

インターネットのホームページを表示するためのアプリケーションです。

●▶「ホームページを表示する」(P.41)

## アウトルックエクスプレス Outlook Express

インターネット上で、メールを送受信したりニュースグループを利用したりするためのアプリケーションです。●▶「Eメールを利用する」(P.52)

## ピム PIM (Personal Intelligence Manager)

個人のスケジュールや住所録の管理を行うアプリケーションです。蓄積したデータは、インターネットにアクセスするときに活用することもできます。操作方法は添付のマニュアルかヘルプをご覧ください。

## 10円メールマスター

NTTドコモのデジタル携帯電話による電子メールサービス「10円メール」の専用アプリケーションです。簡単な操作でインターネットの電子メールが利用できます。●▶「10円メール(携帯電話専用)を使う」(P.95)

## フロントページエクスプレス FrontPage Express

インターネットのホームページを作成するためのアプリケーションです。HTMLについての知識がなくても、ワープロのような感覚でホームページを編集することができます。

## はじめよう！インターネット (InfoWeb)

インターネットを利用するために、パソコンを使ってInfoWeb(プロバイダ)と契約するためのアプリケーションです。●▶「InfoWeb(プロバイダ)でインターネットを利用する」(P.23)

## インテリシンク Intellisync

他のパソコンとデータをやりとりするためのアプリケーションです。●▶「Intellisyncでパソコンとデータをやりとりする」(P.80)

## 駅すばあと

目的地までの電車の経路や運賃を調べるためのアプリケーションです。操作方法は添付のマニュアルかヘルプをご覧ください。

### オープン AUV

パソコンに思いがけないトラブルが起こるのを防いだり、操作のお手伝いをしてパソコンをより使いやすくするソフトです。

おもに次の機能があります。詳しくはヘルプをご覧ください。

- ・フロッピーディスクをはずし忘れていないかチェックする機能。標準の状態では、このチェックを行うようになっています。
- ・他の人にパソコンを使わせるときに、操作できる範囲を制限する機能。
- ・操作しないと自動的に画面が暗くなるのを防ぐ機能。
- ・ハードディスクの空き容量が少なくなると警告する機能
- ・ダブルクリックの操作をやりやすくする機能。
- ・自分宛のメールがサーバーに届いていないか、指定した時間に自動的にチェックしたり、受信する機能。

### ウィルススキャン VirusScan

本パソコンがコンピュータウィルスに感染していないかチェックし、感染していればウィルスを除去するアプリケーションです。\*▶「コンピュータウィルスを検査し除去する(VirusScan)」(P.92)

## FMかんたんバックアップ

簡単な操作で、アプリケーションで作成したデータのバックアップを作成します。バックアップの対象は、本パソコンにご購入時にインストールされているアプリケーションのデータです。バックアップ先は、内蔵または外付けのハードディスクです。

操作方法はヘルプをご覧ください。

## メモ帳

テキストデータを作成したり、表示するためのアプリケーションです。

## タッチおじさんメール

Eメールを作成したり送受信するためのアプリケーションです。茶目っ気たっぷりのタッチおじさんが、メールを配達してくれ、ときには笑えるハプニングもあったりする、使って楽しいメールソフトです。

## サンリオアクセサリー

キャラクター「キティ」をあしらったアクセサリソフトで、次の機能があります。「キティ」がパソコンのデスクトップ上をトコトコ歩き回わる「デスクトップマスコット」、指定した時間に鳴る目覚し時計の「アナログ時計」、インターネットに接続しているときに、メールを受信していないかチェックする「メール着信チェッカー」。



# コンピュータウイルスを 検査し除去する( VirusScan )

ウイルススキャン  
「VirusScan」は、コンピュータウイルスを発見し除去するためのアプリケーションです。

操作のしかたは添付のマニュアルをご覧ください。

## コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとは、プログラムの1種です。何らかの方法でコンピュータ内に読み込まれると、コンピュータウイルス自身で増殖したり、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくするなど、コンピュータに悪影響を及ぼします。こうした事態が発生することをコンピュータウイルスの「感染」といいます。インターネットやパソコン通信でプログラムを入手して利用したときや、他人の使用したフロッピーディスクからデータをコピーしたときに感染する可能性があります。

## VirusScanの働き

VirusScanは、次の機能を備えています。

- ユーザーが実行を指示したときに、ハードディスクやフロッピーディスクなどがウイルスに感染していないか検査し、感染していた場合は除去など必要な処置を行います。

このようにユーザーが必要に応じて、随時に行うウイルス検査を、VirusScanのヘルプでは、「オンデマンドタスク」のウイルス検査と呼んでいます。

- VShieldを起動してVirusScanを本パソコンに常駐させると、ハードディスクやフロッピーディスクなどのファイルへアクセスしたときや、システムの起動や終了時に、自動的にウイルスの検査と除去の処置を行います。

このように常駐して実行されるウイルス検査を、ヘルプでは「オンアクセスタスク」のウイルス検査と呼んでいます。

### アドバイス

#### エマージェンシーディスクを作成してください

エマージェンシーディスクは、ハードディスクが未知のウイルスに感染したり、メモリがウイルスに感染したときに、安全にシステムを起動するためのディスクです。エマージェンシーディスクの作成方法については、VirusScanのヘルプをご覧ください。

## VirusScan ご利用時の注意

### 重要

次の場合はVShieldを使用不可にしてください

- VShieldの起動中は、ご使用のアプリケーションによっては、動作が不安定になることがあります。この場合は、Windows98を終了または再起動して、VShieldを使用不可にしてください。
- VShieldの起動中にアプリケーションをインストールすると、正常にインストールできないことがあります。いったんVShieldを使用不可にしてから、再度インストールし直してください。

VirusScanご利用時の注意

- VirusScanでハードディスクの検査を行っているときは、ハードディスクのプログラムを実行しないでください。また、フロッピーディスクの検査を行っている途中で、フロッピーディスクを取り出さないようにしてください。
- Windows98が起動できるフロッピーディスクを使ってコンピュータを起動する場合、そのフロッピーディスクがウイルスに感染していないかチェックしてからお使いください。

### アドバイス

ウイルスDATファイルとスキャンエンジンの更新

- VirusScanは、ウイルスの検査に、ウイルスの情報を記載したデータファイル ( DATファイル )と、検査プログラム( スキャンエンジン )を使用しています。
- DATファイルは、VirusScanコンソールの「 AutoUpdate 」を実行するか、以下のサイトから無料でダウンロードできます。必要に応じて更新してください。  
<http://www.nai.com/japan/>
- スキャンエンジンを更新する場合は、新たに最新版の「 VirusScan 」を購入してください。詳細についてはVirusScanの「 必ずお読みください 」を参照してください。

ご質問などの連絡先は

- VirusScanをご使用中に、前記の項目以外に、何かトラブルが発生した場合は、次の所へご連絡ください。

パソコンに関するご質問

『本体 & オプションガイド』の「それでも解決できないときは」をご覧ください。「お問い合わせの確認シート」に必要事項をご記入の上、弊社FMインフォメーションサービスにお問い合わせください。

VirusScanに関するご質問

VirusScanのマニュアルをご覧ください。

- コンピュータウイルスを発見された場合は、下記協会に届け出のご協力をお願いします。

IPAセキュリティセンター ウイルス対策室

電話:03-5978-7509(1998年10月現在)



# 10円メール(携帯電話専用)を使う



「10円メールマスター」は、NTTドコモのデジタル携帯電話を利用してインターネットの電子メールを送受信するサービス、「10円メール」を利用するためのアプリケーションです。「マスターネット」というプロバイダに加入し、10円メール用のユーザーIDで通信を行います。

## 10円メールとは

10円メールには、次のような特長があります。

1回10円で送受信ができる

1回10円(12秒以内)でインターネットメールの送受信ができます。送信時は、12秒以内で1000文字(全角)までのデータだけが送れます。受信時は、12秒以内で1000文字までのデータが10円で受信でき、それを越えると、12秒ずつ10円が加算されます。

ポケットベルにメッセージを送信できる

NTTドコモのポケットベル、インフォネクストシリーズにメッセージを送信できます。全角文字の場合、約50文字まで送信できます。

### 重要

ポケットベルの相手先がエリア外にいるときは

メッセージを送信したとき、相手がエリア外にいるときやポケットベルの電源を切っているときは、送信エラーとなります。

## 10円メールを使う前の準備

ここでは、マスターネットへ加入するまでの手順について説明します。すでにマスターネットに加入している方も、10円メールの申し込みが必要です。

### 必要なものを用意する

10円メールマスターを利用して通信を行うには、次の機器が必要です。なお、対応している機種などについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。

NTTドコモのデジタル携帯電話

9600bpsに対応したNTTドコモのデジタル携帯電話が必要です。他のデジタル携帯電話、またはPHSなどではご利用できません。

## 携帯電話接続ケーブル

- ・PDCコネクタ用の「携帯電話接続ケーブル」を使用します。  
接続方法は、『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。
- ・モデムを選択する際に、「Fujitsu SOFT PDC」を選択してください。

## デジタル携帯電話接続カード

NTTドコモのデジタル携帯電話の接続に使用する、デジタル携帯電話接続カードが必要です。

## クレジットカード

マスターネットに加入するには、クレジットカードが必要です。お手元に用意してください。使用できるクレジットカードについては、ヘルプをご覧ください。

なお、法人会員でクレジットカード以外のお支払いを希望する場合は、マスターネット株式会社にお問い合わせください。

## ● モデムの設定をする ●

10円メールマスターでは、本パソコンに内蔵のモデムではなく、「携帯電話接続ケーブル」が携帯電話接続カードを接続に使います。

### アドバイス

携帯電話用の所在地情報に切り替えることが必要

10円メールを使用するときは、携帯電話用の所在地情報を使わないと接続できません。

これまで内蔵モデムを使って通信を行っていた場合は、携帯電話用の所在地情報を使って通信をするように設定してください。

操作方法は ●▶ 『本体&オプションガイド』の「所在地情報の設定と切り替え」

## 1 本パソコンとデジタル携帯電話を接続します。

『本体&オプションガイド』の「携帯電話やPHSを使う」をご覧ください。また、携帯電話接続カードのマニュアルもあわせてご覧ください。

## 2 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」、「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。

「ようこそ」ウィンドウが表示されます。

## 3 「キャンセル」をクリックします。



#### 4 「通信設定」をクリックします。



「設定」ウィンドウが表示されます。

#### 5 「モデム設定」タブをクリックします。

#### 6 「モデムを使う」をクリックして にし、「モデム」の右の をクリックして、一覧から「Fujitsu SOFT PDC」かデジタル携帯電話接続カードの名前をクリックし、「OK」をクリックします。



これでデジタル携帯電話を使って、通信ができるようになりました。続けて、10円メールが利用できるように、加入手続きをします。

### 加入手続きをする

加入手続きは、本パソコンからオンラインで行います。加入手続きをすると、約1週間で10円メール用のユーザーIDなどが郵送されてきます。

すでに10円メールに加入している場合は、「ユーザーIDを設定する」( ●▶ P.98 )に進んでください。

#### 確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

#### 1 「入会手続き」をクリックします。

「新規入会」ウィンドウが表示されます。

- 2 マスターネットに加入している場合  
「はい」をクリックし、「10円メール申し込み」ウィンドウで必要な項目を入力します。

マスターネットに加入していない場合  
「いいえ」をクリックし、「オンライン登録」ウィンドウで必要な項目を入力します。

入力する項目について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

- 3 「通信&登録」をクリックします。

## ユーザーIDを設定する

マスターネットからユーザーIDなどが郵送されてきたら、10円メールマスターに登録します。

- 1 「通信設定」をクリックします。
- 2 各項目を入力して、「OK」をクリックします。

設定

ID、パスワード | モデム設定 | 送受信の形式 | メール削除 | バージョン

基本 ID abcdef89

パスワード \*\*\*\*

DoCoMo 電話番号 1234567

名前 富士通 美部朗

ID、パスワードの英大文字、小文字は区別されます。  
入力の欄には、ご注意ください。

パスワードは入力後は\*で表示されます。

※ DoCoMo電話番号は、登録した携帯電話の番号を入力してください。

※名前は、送信メールで相手先の From に表示されます。

OK キャンセル 適用(A)

これで、10円メールが使えるようになりました。

## メールを送信する

10円メールを利用してメールを送信してみましょう。自分宛にメールを送ることもできます。

### 確認

デジタル携帯電話を準備してください

デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

**重要****送信できるデータ**

- ・送信できるデータは、テキストデータのみです。バイナリデータのファイルや、添付文書を送ることはできません。
- ・一度に送信できるのは、全角文字で約1000文字(12秒以内)までです。ただし、相手側の機種によっては、受信した時に文字数が少なくなることがあります。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。

10円メールマスターのウィンドウが表示されます。

- 2 「メール送信」をクリックします。

「メールの送信」ウィンドウが表示されます。

- 3 「宛先」の右の欄をクリックし、送信先のメールアドレスを入力します。
- 4 「表題」の右の欄をクリックし、メールのタイトルを入力します。
- 5 メールの内容を入力し、「送信」をクリックします。  
送信先にメールが送られます。

## メールを受信する

送られてきたメールを受信してみましょう。

### 確認

デジタル携帯電話を準備してください

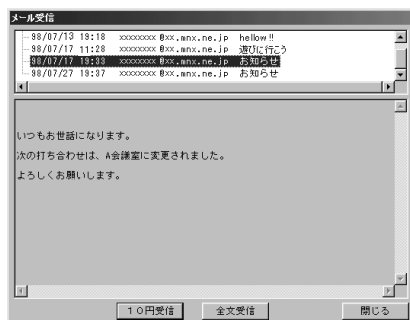
デジタル携帯電話の電源を入れ、発信者番号通知を「ON」に設定してください。操作方法については、デジタル携帯電話のマニュアルをご覧ください。

### 重要

受信できるデータ

受信できるデータは、テキストデータのみです。バイナリデータのファイルや、添付文書を受信することはできません。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「10円メールマスター」の順にマウスポインタを合わせ、「10円メールマスター」をクリックします。  
10円メールマスターのウィンドウが表示されます。
- 2 「メール受信」をクリックします。  
「メール受信」ウィンドウが表示されます。上の欄には、前に受信したメールの一覧が表示されています。
- 3 「10円受信」または「全文受信」をクリックします。  
10円受信: 通信時間が12秒以内で、未読のメールを受信します。12秒以内であれば複数のメールも受信できます。  
全文受信: 未読のメールをすべて受信します。通信時間が12秒かかるごとに、10円の料金がかかります。
- 4 受信したメールのタイトルをクリックします。



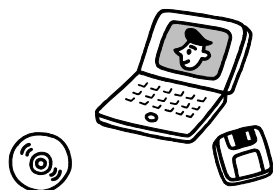
メールの内容が下の欄に表示されます。

## 5 メールを読み終わったら、「閉じる」をクリックします。

「メール受信」ウィンドウが閉じます。

10円メールマスターには、この他にもたくさんの機能があります。詳しくは、ヘルプ、または10円メールの入会後に郵送されてくるマニュアルをご覧ください。

# アプリケーションのインストールと削除



ここでは、アプリケーションをインストールする前の準備とインストールの方法、および削除の方法について説明します。

## アプリケーションをインストールする

### インストールの前の準備

フロッピーディスクで提供されているアプリケーションをインストールする場合、フロッピーディスクユニットが必要です。フロッピーディスクユニットの取り付けかたについては、『本体 & オプションガイド』をご覧ください。  
CD-ROMで提供されているアプリケーションをインストールする場合、CD-ROMドライブ(別売)が必要です。CD-ROMドライブの利用については、『本体 & オプションガイド』とCD-ROMドライブのマニュアルをご覧ください。

### インストール前に確認すること


アプリケーションをインストールする前に確認事項がいくつかあります。次の説明を参考に、正しくインストールできることを確かめてください。

Windows98用のアプリケーションか？

「Windows98対応」と明示されたアプリケーションを使用してください。Windows95や3.1のみに対応しているアプリケーションは、利用できない場合があります。

ハードディスクの空き容量は？

ハードディスクの空き容量が足りないときは、アプリケーションを正しくインストールできません。インストールするアプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。必要なディスク容量を確認してください。本パソコンのハードディスクの空き容量は、次のようにして調べることができます。

- 1 デスクトップの  (マイ コンピュータ) をクリックします。

「マイ コンピュータ」ウィンドウが表示されます。

## 2 CまたはDドライブを右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックします。

選択したドライブのプロパティのウィンドウが表示されます。

### アドバイス

#### ハードディスクの空き容量が不足しているとき

利用しないアプリケーションのアンインストールや、不要なファイルの削除などによって、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。詳しくは、「アプリケーションを削除する」(▶ P.106)、「不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)」(▶ P.109)をご覧ください。

#### ご購入時の設定では

「マイ コンピュータ」ウィンドウでドライブのアイコンにマウスポインタを合わせただけで、ウィンドウの左側に空き容量などが表示されます。

#### 必要なメモリは？

本パソコンは、64MBのメモリを内蔵しているので、市販されているほとんどのアプリケーションを利用することができます。ただし、アプリケーションによっては、大容量のメモリを必要とする場合があります。また、複数のアプリケーションを同時に起動して、切り替えて利用する場合には、メモリが不足することがあります。

アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。必要なメモリ容量を確認してください。メモリを増設する方法については、『本体 & オプションガイド』をご覧ください。

#### 使用中のアプリケーションの終了

アプリケーションのインストールが終了すると、コンピュータの再起動が行われる場合があります。再起動すると、それまでの作業で保存されていないデータは失われてしまいます。インストール作業を始める前に、作業中のデータを保存して、使用中のアプリケーションを終了してください。

## インストールを始める

### 重要

ドライブが正しく認識されていますか


インストール作業を始める前に、フロッピーディスクユニット、またはCD-ROMドライブが正しく認識されていることを確認してください。デスクトップの「マイコンピュータ」をクリックして、ウィンドウ内にドライブのアイコンが表示されていれば正しく認識されています。

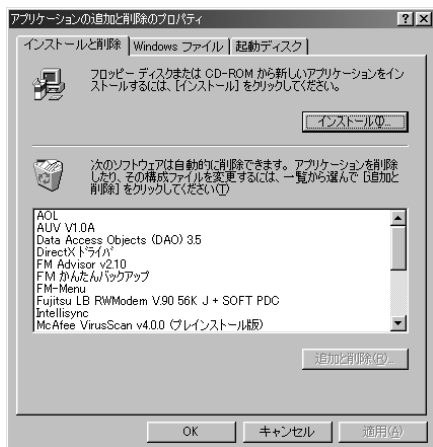
### アドバイス

Windows 98 の CD-ROM のセットを求めるメッセージが表示されたら

「Windows 98 の CD-ROM のセットをしてください」というメッセージが表示された場合は、次のフォルダにコピーするファイルがあります。次のフォルダをコピー元に指定してください。

「c:¥windows¥options¥cabs」

- 1 アプリケーションのフロッピーディスク(またはCD-ROM)をセットします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロール パネル」をクリックします。  
「コントロール パネル」ウィンドウが表示されます。
- 3  (アプリケーションの追加と削除) をクリックします。  
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ウィンドウが表示されます。





#### 4 「インストール」をクリックします。

「フロッピー ディスクまたは CD-ROM からのインストール」ウィンドウが表示されます。

#### 5 「次へ」をクリックします。

「インストール プログラムの実行」ウィンドウが表示されます。

#### 6 「インストール プログラムのコマンドライン」の下の欄に、フロッピーディスクかCD-ROMのインストールプログラムのファイル名を入力し、「完了」をクリックします。

インストールプログラムが始まります。このあとの操作は、各インストールプログラムによって異なります。画面に表示されるメッセージに従って、インストール作業を進めてください。

**アドバイス** .....

内蔵されているアプリケーションの再インストールについて

『リカバリガイド』の「第2章 アプリケーションを再インストールする」をご覧ください。

インストールしたアプリケーションの削除について

『リカバリガイド』の「アプリケーションの削除方法」をご覧ください。

.....

## アプリケーションを削除する

アプリケーションを削除するときは、必ず各アプリケーションに付属のアンインストール機能を使うか、「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」を使って行ってください。

アンインストール機能が用意されている場合は、そちらを優先して、アンインストール機能を使って削除してください。

### コラム

#### アンインストール機能とは

Windows98に対応したアプリケーションには、「アンインストール機能」が用意されているものがあります。アプリケーションには、インストールするときに自動的にシステムの設定を変更するものがあり、単にプログラムのファイルを削除するだけでは、インストールする前の状態に戻らないことがあります。アンインストール機能を使うと、プログラムファイルを削除するとともに、システムの設定もアプリケーションをインストールする前の状態に戻すことができます。

### アンインストール機能を使う

アンインストール機能は、「スタート」ボタンから利用します。たとえば、FM-Menuをアンインストールする場合には、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「FM-Menu」の順にマウスポインタを合わせ、「FM-Menuアンインストール」をクリックします。削除を確認するウィンドウが表示されるので、「はい」をクリックします。

#### 重要

#### アプリケーションをアンインストールする前に

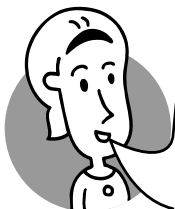
本当に削除してもよいかどうか、確認してから行ってください。アプリケーションをアンインストールすると、設定内容なども消えてしまうので、再びインストールをしない限り復元できません。

### アプリケーションの追加と削除

「アプリケーションの追加と削除」での操作は『リカバリガイド』の「アプリケーションの削除方法」をご覧ください。

## 豆知識

本パソコンには、ハードディスクの不具合を検査したり  
不要なファイルを削除するなど、  
メンテナンスのためのユーティリティソフトが内蔵されています。  
ここでは、これらの操作方法を説明するだけでなく、  
本パソコンの使いやすさをアップするための豆知識を掲載しています。



この章では、次の内容を説明しています。

- ハードディスクを使いやすくする( ●▶ P.108 )
- 操作の環境をよくする
  - ミニ情報: 画面を見やすくする( ●▶ P.111 )
  - ミニ情報: 操作方法を変える( ●▶ P.113 )
- マルチメディアファイルを楽しむ
  - ミニ情報: マルチメディアファイルを楽しむ( ●▶ P.114 )
- よくある操作を楽にする
  - ミニ情報: 特殊な文字や記号を入力する( ●▶ P.117 )
  - ミニ情報: ファイルを探して中を見る( ●▶ P.118 )

# ハードディスクを使いやすくする

## ハードディスクに異常がないか調べる(スキャンディスク)

Windowsが正常に終了しなかったり、ソフトウェアの障害などによって、システムのファイル管理に異常が発生することがあります。


スキャンディスクは、ファイル管理に異常がないか検査します。

自動修復を指定すると

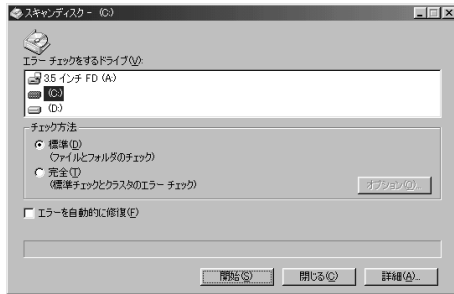
管理外のクラスタ(ディスクを管理するときの単位領域)や読み書きできないクラスタを、ファイルから除外するなどの処置を行います。処置内容については(C:)フォルダの「Scandisk.log」というテキストファイルをご覧ください。


### 重要

#### スキャンディスクを行うときの注意事項

- ・スキャンディスクを開始する前に、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。タスクバーにアイコンが表示されている、VirusScanなどの常駐ソフトも終了させる必要があります。
- ・デスクトップの何も無いところを右クリックし、メニューの「プロパティ」を選択すると表示される「画面のプロパティ」ウィンドウで、「スクリーンセーバー」タブを開き、「スクリーンセーバー」の設定を必ず「なし」にしてください。
- ・「コントロールパネル」ウィンドウの  (電源の管理) をクリックし、「電源設定」タブの「システムスタンバイ」の設定を、必ず「なし」にしてください。
- ・スキャンディスクは、必ずACアダプタを接続してから行ってください。
- ・スキャンディスクを行っている間は、絶対にMAINスイッチをOFFにしないでください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」、「アクセサリ」、「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「スキャンディスク」をクリックします。
- 2 「エラー チェックをするドライブ」欄で、チェックしたいドライブをクリックします。




- 3 「チェック方法」欄の「標準」をクリックしにします。

#### アドバイス

「完全」を選択した場合は

「完全」を選択してスキャンディスクを実行すると、クラスタごとの検査を行うので時間がかかります。正確に検査したいときに、実行してください。

- 4 「エラーを自動的に修復」をクリックしにします。

- 5 「開始」をクリックします。

選択したディスクの検査が始まり、「スキャンディスク」ウィンドウに進行状況が表示されます。

検査が終了すると、「結果レポート」ウィンドウが表示されます。

- 6 「閉じる」をクリックします。

「スキャンディスク」ウィンドウに戻ります。

- 7 「閉じる」をクリックします。

スキャンディスクが終了します。

### 不要なファイルを自動検出して削除する(ディスククリーンアップ)


パソコンを使用していると、プログラムが一時的に使ったファイルなど不要なファイルが残ることがあります。ディスククリーンアップでは、次のファイルを自動検出して削除することができます。

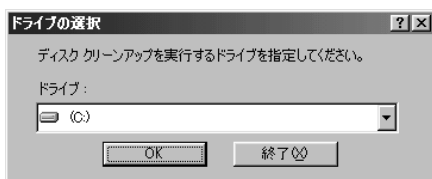
- ・インターネットの一時ファイル
- ・ダウンロードされたプログラムファイル(Active Xなど)
- ・ごみ箱
- ・一般のプログラムが使用する一時ファイル

この他に、Windowsのコンポーネントや、アプリケーションを指定して削除することもできます。


- 1 「スタート」ボタンをクリックし「プログラム」,「アクセサリ」,「システム ツール」の順にマウスポインタを合わせ、「ディスク クリーンアップ」をクリックします。

しばらくして「ドライブの選択」ウィンドウが表示されます。

- 2 「(C:)」の  をクリックして、処理したいドライブをクリックし、「OK」をクリックします。



「ディスク クリーンアップ」ウィンドウが表示されます。

- 3 「削除するファイル」欄の削除するファイルの  をクリックし  にします。

#### **アドバイス**

##### 削除するファイルの説明

「削除するファイル」をクリックすると、「説明」欄にどのようなファイルが削除されるかが表示されます。また、「ファイルの表示」をクリックすると、削除されるファイルの一覧が表示されます。

- 4 「OK」をクリックします。

削除を確認するウィンドウが表示されます。

- 5 「はい」をクリックします。

選択したファイルの削除が始まり、削除の進行状況を示すウィンドウが表示されます。

削除が終了するとウィンドウが閉じ、ディスククリーンアップが終了します。



# 操作の環境をよくする

三  
情報



## 画面を見やすくする


### マウスポインタを見やすくする

クイックポイント で操作する場合は、マウスポインタの大きさを変えたり、軌跡を表示するとマウスポインタの動きを目で追いやすくなります。また、ダブルクリックの間隔やマウスポインタの移動速度は、使いやすいように変更することができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (マウス) をクリックします。  
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。  
以下手順3からの操作は、必要に応じて行ってください。
- 3 「ダブルクリックの速度」の  をドラッグして、適切な速度に調整します。



- 4 「ポインタ」タブをクリックします。  
マウスポインタのデザインを選択するウィンドウが表示されます。
- 5 「デザイン」の  をクリックし、一覧からマウスポインタ名をクリックします。  
クリックしたマウスポインタのデザインが表示されます。
- 6 「動作」タブをクリックします。  
マウスポインタの速度や軌跡を設定するウィンドウが表示されます。
- 7 「ポインタの速度」の  をドラッグして、適切な速度に調整します。



- 8 「ポインタの軌跡」の「表示する」をクリックして  にし、 をドラッグして軌跡の長さを調整します。
- 9 「OK」をクリックします。  
マウスポインタの設定が変更されます。

## 文字を見やすくする

「画面のプロパティ」や「ユーザー補助のプロパティ」の設定で表示する文字を大きくすることができます。




### 画面タイトルやアイコンの文字

ウィンドウタイトルやメニュー、またアイコン名の文字は、画面のプロパティで大きくすることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (画面) をクリックします。  
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「デザイン」タブをクリックします。
- 4 「配色」の右の  をクリックし、一覧から「Windowsスタンダード(大きいフォント)」か「Windowsスタンダード(特大のフォント)」の配色名をクリックします。  
クリックした配色名のデザインが表示されます。
- 5 「OK」をクリックします。  
画面の文字の大きさが変更され、「画面のプロパティ」ウィンドウが閉じます。

### ヘルプの文字

ユーザー補助機能では、画面タイトルやアイコン名の文字に加えて、Internet ExplorerやOutlook Express、Windowsのヘルプの文字を、大きくすることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「コントロールパネル」をクリックします。
- 2  (ユーザー補助) をクリックします。  
「ユーザー補助のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「画面」タブをクリックします。
- 4 「ハイコントラストを使う」をクリックして  にし、「設定」をクリックします。
- 5 「ハイコントラストの色設定」欄の「ユーザー設定」をクリックし、 にします。
- 6 「ユーザー設定」の右の  をクリックし、一覧から「Windowsスタンダード(大きいフォント)」か「Windowsスタンダード(特大のフォント)」の配色名をクリックします。



7 「OK」をクリックします。

8 「ユーザー補助のプロパティ」ウィンドウで「OK」をクリックします。

画面の文字の大きさが変更され、「ユーザー補助」ウィンドウが閉じます。

## 三二 情報

### 操作方法を変える

#### Web ページを表示しない

従来のWindowsスタイルのほうが、操作しやすいという方は、以下の操作で変更することができます。

- 1 デスクトップの何も無いところに、マウスポインタを合わせて右クリックし、メニューを表示します。
- 2 アクティブデスクトップにマウスポインタを合わせ、表示されたメニューの「Web ページで表示」をクリックして  (チェックマーク) を外します。

#### ファイルの実行をダブルクリックで

- 1 「スタート」メニューの「設定」で、「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブで「カスタム」をクリックして  にし、「設定」をクリックします。
- 3 「カスタム設定」ウィンドウで「シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。
- 4 「フォルダオプション」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

#### 画面とクリック方法のどちらも従来のWindowsスタイルにする


- 1 「スタート」メニューの「設定」で、「フォルダオプション」をクリックします。
- 2 「全般」タブで「従来の Windows スタイル」をクリックして  にし、「OK」をクリックします。

# マルチメディアファイルを楽しむ


Windows98には、音楽や動画などを楽しむためのアプリケーションが、あらかじめ用意されています。また、本パソコンにはマイクが付属していますので、音声を録音することもできます。

## スピーカーの音量を調整する

音量の調整は、次の3つの方法があります。


- ・本体右側面の「音量ボリューム」で調整する。
- ・タスクバーの (音量) で調整する。
- ・「ボリューム コントロール」ウィンドウで調整する。( ●▶ P.115 )

これらの方法で音を消す操作を行った場合、消音するかどうかは次のとおりです。

	本体右側面の 音量ボリューム を最小にしたら 消音する？	タスクバーの  (音量) でミュート を <input checked="" type="checkbox"/> にしたら 消音する？	WAVE* <sup>2</sup> の ミュートを <input checked="" type="checkbox"/> にしたら 消音する？	Aux* <sup>2</sup> の ミュートを <input checked="" type="checkbox"/> にしたら 消音する？
バッテリー切れ アラーム* <sup>1</sup>	する	しない	しない	しない
エラー操作時の 効果音( WAVE )	する	する	する	しない
モデムの音量	する	する	しない	する
音楽( MIDI )	する	する	しない	しない


\* 1: 状態表示LCDのバッテリー残量表示が点滅したときのアラーム音です。

\* 2: 「ボリューム コントロール」ウィンドウでの操作です。


**[Fn]** を押しながらか **[F3]** を押して消音にしたり、本体右側面の「音量ボリューム」で消音状態にしていると、バッテリー切れのアラームが聞こえなくなります。本パソコンをバッテリーだけで使用している場合、音量はタスクバーの で調整することをお勧めします。

なお、WAVEやMIDIなどの音量を個別に調整したい場合は、「ボリューム コントロール」ウィンドウで操作します。

### タスクバーの (音量)で音量を調整する

- ・タスクバーの をクリックし、「ミュート」の左が になっている場合は、クリックして にします。
- ・つまみをドラッグして適切な音量に調整します。

### WAVEやMIDIなどの音量を個別に調整する


- ・タスクバーの をダブルクリックし、「ボリューム コントロール」ウィンドウを表示させます。
- ・「WAVE」や「MIDI」の下にある、「音量」のつまみをドラッグすると、その音の音量が調整できます。
- ・「ミュート」をクリックして にすると、その音が消えます。

## マイクを使って録音する

自分の声や楽器の音などを録音し、WAVEサウンドファイルとして保存することができます。保存したファイルの音を、マウスをクリックしたときにでる音やWindowsのエラー音にすることもできます。




### マイクが使えるようにする

次の操作で、標準の設定になっているか確認します。

- 1 タスクバーの (音量)をダブルクリックします。
- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「録音」をクリックして にし、下の一覧の「マイク」をクリックして にしてから、「OK」をクリックします。
- 4 「録音コントロール」ウィンドウの「マイク」の下にある「ミュート」が になっていれば、クリックして にします。

### 録音する

マイクを接続してから、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテイメント」の順にマウスポインタを合わせ、「サウンド レコーダー」をクリックします。
- 2 「サウンド レコーダー」のウィンドウで  をクリックして録音を開始し、 をクリックして停止させます。
- 3 録音した音声を聞きたい場合は、 をクリックします。
- 4 保存したい場合は「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」をクリックして保存します。

音や画像のファイルを開く

音や画像のファイルは、そのアイコンをクリックするだけで、簡単に再生したり、表示したりできます。

開くことのできるファイルは、次のアイコンで表示されています。




再生できるサウンドファイル

 の付いた WAVE<sup>フエーブ</sup>ファイル、 の付いた MIDI<sup>ミディ</sup>ファイル

C:\¥Program Files¥Plus!¥Themes に WAVE ファイルのサンプルがあります。

C:\¥Windows¥Media に両方のサンプルがあります。

再生できる動画ファイル

灰色の  の付いた AVI<sup>エイヴィ</sup>ファイル、水色の  の付いた MPEG<sup>エムペグ</sup>ファイル、緑色の  の付いた QuickTime<sup>クイックタイム</sup>、MOV<sup>ムーブ</sup>ファイル

表示できる画像ファイル

 の付いた BMP<sup>ビーエムピー</sup>ファイル、赤色の  の付いた JPEG<sup>ジェイペグ</sup>ファイル、緑色の  の付いた GIF<sup>ジフ</sup>ファイル、 の付いた TIFF<sup>ティフ</sup>ファイル

C:\¥Program Files¥Plus!¥Themes に JPEG ファイルのサンプルがあります。

C:\¥Windows に BMP ファイル、GIF ファイルのサンプルがあります。

アドバイス

各ファイルのアイコンは、標準の状態のもので

これらのファイルを処理するアプリケーションをインストールしたときに、アイコンが変更されることがあります。

# よくある操作を楽にする


三二  
情報

## 特殊な文字や記号を入力する

特殊な文字や記号を入力する場合や、読みがわからないか、読みを入力しても変換できない場合は、文字コード表やIMEパッドのソフトキーボードを使って入力することができます。

### 読みのわからない漢字を手書き入力する

MS-IME98の手書き入力機能では、漢字などをペンで書くと、それに似た形の漢字の一覧が表示され、そこから目的の字を選択して入力することができます。特にペンで操作しているときに便利な機能で、複雑な文字でも気軽に入力できます。

MS-IME98のツールバーの (IMEパッド) をクリックし、「手書き」ウィンドウを表示します。

左側の手書き領域にペンで文字を書くと、右側の一覧に形の似た文字が表示されるので、クリックして選択します。

このほか、複数の手書き領域を使って、文字を手書きしながら、次々と入力していく機能などもあります。操作方法はヘルプをご覧ください。

### 記号を入力する


読みから入力する

特殊な文字や記号でも、読みがわかれば次のように読みで入力することができます。

例: 記号の入力

「〒」= ゆうびん、「」= シャーぷ、「」= るーと

MS-IME98のソフトキーボードから入力する

MS-IME98のツールバーの (IMEパッド) をクリックして、「手書き」ウィンドウを表示し、「手書き」をクリックして表示されたメニューから「文字一覧」をクリックします。「文字一覧」ウィンドウでは入力したい文字や記号を表示しクリックして入力します。

文字コード表より入力する

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせ、「文字コード表」をクリックします。「文字コード表」から入力したい文字や記号をコピーし、貼り付けて入力します。

## (チルダ)を入力する

「**~**」は、日本語入力システムがオフの状態では、**[Shift]** を押しながらか **[~]** を押し  
ます。



## ファイルを探して中を見る

ここでは、ファイルの検索方法や、ファイルの中身を簡単に確認する方法などを説明します。

### ディスクやフォルダ内を階層的に表示する(エクスプローラ)

ディスクやフォルダを右クリックし、「エクスプローラ」をクリックすると、そのディスクやフォルダが、フォルダ相互の関係がわかる形で階層的に表示されます。

エクスプローラ上でファイルやフォルダをコピーまたは移動するときは、それらをコピー先や移動先のフォルダにドラッグして重ねます。

異なるドライブのフォルダへドラッグすると、マウスポインタに **[+]** が表示され自動的にコピーされます。移動したい場合は、**[Shift]** を押し、**[+]** の表示を消してから、移動先にドラッグしてボタンを離します。

#### アドバイス

常にエクスプローラでフォルダを表示するには

- 1 「スタート」メニューの「設定」から「フォルダ オプション」をクリックし、「ファイル タイプ」タブをクリックします。
- 2 「登録されているファイル タイプ」の中から「フォルダ」をクリックし、「編集」をクリックします。
- 3 「アクション」欄の「explorer」をクリックし、「標準」をクリックします。

### ファイルを探す(検索機能)

検索機能を使うと、ファイルを簡単に探すことができます。

「スタート」メニューの「検索」から「ファイルやフォルダ」をクリックし、検索条件を設定します。

検索条件は「名前と場所」、「日付」、「その他」の3つのタブで設定することができます。

「名前と場所」タブ: ファイル名やファイル内に含まれる文字列や、検索するドライブを指定して検索します。

「日付」タブ: ファイルの作成日や更新日時などを指定して検索します。

「その他」タブ: ファイルの種類やサイズを指定して検索します。

#### アドバイス

\*(半角のアスタリスク)を使ってファイル名を検索する

ファイル名検索では、「\*」はすべての文字(文字のない場合も含む)に該当します。

「a\*c.txt」と入力した場合は、aとcの間にどんな文字があるファイル名でも、また文字のないファイル名でも検索されます。

【例】ac.txt、abc.txt、abbc.txt、abbcc.txt など

## ファイルをサイズ順・種類順・日付順に並び替える

- フォルダウィンドウやエクスプローラウィンドウにフォルダを開いた状態で、「表示」メニューの「詳細」をクリックします。
  - ファイル名の一覧を表示している領域の先頭にある「名前」、「サイズ」、「ファイルの種類」、「更新日時」をクリックします。
- これによって、クリックした項目が昇順、または降順に並ぶように並び替えが行われます。



## テキストやビットマップの内容を確認する(クイックビューア)

テキストファイルやビットマップファイルのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「クイックビューア」をクリックします。

クリックしたファイルの中身が表示され、確認することができます。

## 画像やインターネットドキュメントを簡単に見る(Web表示)

- エクスプローラウィンドウやフォルダウィンドウで「表示」メニューの「Web ページ」をクリックし、☑(チェックマーク)の付いた状態にします。
- 中身を見たいファイルにマウスポインタを合わせると、ファイルの中身を簡単に表示することができます。
- Web表示で簡単に中身を表示できるのは次のファイルです。  
BMPファイル、JPEGファイル、GIFファイル、TIFFファイル、HTMLファイル

## フォルダやアプリケーションを速く開くには

ショートカットを作る

デスクトップ上に、フォルダやアプリケーションのショートカットを作っておくと、簡単にフォルダやアプリケーションを開くことができます。

ショートカットは、次のような方法で作成します。

- フォルダやアプリケーションなどを右クリックし、表示されたメニューから「ショートカットの作成」をクリックします。

・クイックポイント で操作するときは、次のようにして作成することもできます。

フォルダやアプリケーションにマウスポインタを合わせ右ボタンを押したまま、ショートカットを作りたい場所までドラッグして、表示されたメニューから「ショートカットをここに作成」をクリックします。

「ショートカットキー」

作成したショートカットに「ショートカットキー」を登録しておく、キー操作だけでフォルダやアプリケーションを開くことができます。

たとえば、**[Ctrl]**と**[Alt]**を押しながら**[C]**を押すと、Cドライブのウィンドウが開くというようにできます。

登録するには、ショートカットを右クリックして「プロパティ」をクリックし、「ショートカット」タブにある「ショートカットキー」に入力します。

### 「送る」の送り先にアプリケーションを登録する

ファイルやフォルダを右クリックしたときに表示されるメニューに「送る」があります。

送り先のアプリケーションで開く

「送る」にマウスポインタを合わせると表示される、「3.5インチFD(A)」や「マイドキュメント」などの項目をここでは送り先と呼びます。

送り先にはアプリケーションを登録しておくことができます。ファイルを右クリックして送り先のアプリケーションを選べると、選んだアプリケーションを使って、そのファイルを開くことができます。

送り先に登録するときは

送り先に登録するときは、アプリケーションのショートカットを作成して、「SendTo」フォルダに入れます。

「SendTo」フォルダは、Cドライブの「Windows」フォルダにあります(C:\¥Windows¥SendTo)。

【例】テキストファイルをメモ帳で開く





「SendTo」フォルダに「ワードパッド」のショートカットを入れておくと、「送る」メニューの送り先に「ワードパッド」が表示されます。

テキストファイルを右クリックして、メニューから「送る」を選んで、送り先の「ワードパッド」をクリックすると、テキストファイルを「ワードパッド」で開くことができます。



## 索引

## ① SUS/RES表示)

～の消灯	4
～の点滅	4
 ( オープ )	91
 ( PMSet98 )	8
 ( PMSet98 )	8
 ( PMSet98 )	8

## 数字・ABC順

10円メール	95
32Kデータ通信	15
ACアダプタに接続中の表示	8
AUV( オープ )	91
BIOSセットアップ	
～の省電力の設定	6、8
～の設定の影響	6、8
～とPMSet98の設定	7
CC	64
DNSサーバーアドレス	28
Eメール メール	
FrontPage Expressとは	90
HTML形式	48
ID( インターネットの )	27
IPアドレス	28
ISDNカード	17
ISDN公衆電話でインターネット	16
InfoNavigatorで検索	47
InfoWeb	
～とは	23
～に加入している場合の設定	23

～の無料体験	23
～への加入申し込み	23
はじめよう!インターネット～	23
Intellisync	80
Internet Explorer	
～で接続する	41
～で切断する	44
～のオフライン作業	44
～の接続設定を確認する	66
～の接続設定を切り替える	76
LANとは	87
MAINスイッチの場所	2
MIDIファイルを聴く	116
Outlook Express	
～で切断する	58
～での「オフライン」	56
～での「ログオン」	57
～でメールを作る	54
～でメールを受信する	58
～でメールを送信する	55
～の受信メールの見かた	59
～の接続設定を確認する	67
～の接続設定を切り替える	77
～の初期設定	52
～のトレイの見かた	60
PDCコネクタ	
～用「携帯電話接続ケーブル」	14
PHS	
～接続カード	15
～でインターネット	15
PIAFSとは	15
PMSet98	7、8
POPメールサーバー名	31
POPアカウント名	32

PPP .....	28
SMTPメールサーバー名 .....	31
SUS/RESスイッチの位置 .....	2
Save To Disk機能 .....	3
~を実行する前に戻る .....	3
~とサスペンドの比較 .....	3
URLとは .....	42
VShield .....	92、93
VirusScanとは .....	92
WAVEファイルを聴く .....	116
WWWとは .....	21
Web表示を消す .....	113
(チルダ) .....	118

## 五十音順

### あ

アクセスポイント .....	20、26
アドレス帳(メールの) .....	62
アナログ携帯電話 .....	15
アプリケーション	
~のアンインストール .....	106
~のインストール .....	102
~の概要 .....	90
~の削除 .....	106
アンインストール機能 .....	106

### い

一時停止	
~状態 .....	2、5、6、9
~する前に戻る .....	2、6
~と休止状態との比較 .....	3
インストール .....	102
インターネットエクスプローラー	
Internet Explorer	

インターネット	
~接続設定とは .....	24
~接続設定の作成 .....	25
~ディレクトリサービスアカウント .....	34
~にInternet Explorerで接続 .....	41
~に接続するための設定 .....	23、25
~ニュースアカウントの設定 .....	33
~の始めかた .....	12
~への接続を切断する .....	44
~メール    メール	
~を無料で試す .....	23
インターネット会議とは .....	22
インターネット接続ウィザード .....	25
「インターネット接続の設定」 .....	26

### う

ウイルスとは .....	92
ウイルスDATファイル .....	93

### え

液晶ディスプレイ	
~の明るさ    画面の明るさ	
~を開けてレジュームする設定 .....	6
~を閉めると一時停止する .....	6
~を閉めるとサスペンドする .....	6
駅すばあととの概要 .....	91
エクスペローラ	
~でのファイルの移動 .....	118
~でファイルを並び替える .....	119
エマージェンシーディスク .....	92

### お

音	
~が出るようにする .....	114

～のファイルを聴く .....	116
～を大きくする .....	115
オフライン作業( Internet Explorer ) .....	44
終わりかた( 操作、作業の ) .....	2
オンラインサービス .....	24
オンラインサインアップ .....	24
オンラインショッピングとは .....	21
音量の調整 .....	115

## 【か】

開始( 操作、作業の ) .....	2、4
加入( プロバイダへの ) .....	23、24
外出先でインターネットを利用	
携帯電話での利用 .....	70、73
室内の電話回線での利用 .....	70、73
外線発信番号 .....	75
画像	
～のファイルを開く .....	116
ホームページの～の保存 .....	49
画面の明るさ	
AC電源使用时でも暗くする .....	7
消えたのを元に戻す .....	4、5
何もしないで消えた .....	4、5
バッテリー使用时でも明るくする .....	7
画面の表示	
Web表示を消す .....	113
文字を大きくする .....	112
漢字を手書きで入力 .....	117

## 【き】

記号の入力 .....	117
既存のダイヤルアップ接続を使う .....	26
休止	
休止( Save To Disk )状態 .....	3
～する前に戻る .....	3

～とサスペンドとの比較 .....	3
-------------------	---

## 【く】

クイックビューアで見る .....	119
クリック操作のしかたを変える .....	113

## 【け】

携帯電話	
～接続カード .....	15
～接続ケーブル( PDCコネクタ用 ) .....	14
携帯電話でインターネット	
PISFS対応PHSの場合 .....	15
PISFS非対応のPHSの場合 .....	15
アナログ携帯電話の場合 .....	15
デジタル携帯電話の場合 .....	15

## 検索

ファイルの～ .....	118
ホームページの～ .....	47
検索エンジン .....	47

## 【こ】

公衆電話でインターネット .....	16
コネクションID( 接続ID ) .....	27
コンピュータウイルス .....	92
～の検査と除去 .....	92
～発見時の連絡先 .....	94

## 【さ】

再開( 操作、作業の ) .....	2、4
作業( 操作 )	
～途中の状態に戻る .....	2、3
～途中の状態を残して中断 .....	2、3
～の開始 .....	2、3
～の再開 .....	2、3
～の中断 .....	2、3
～の停止・終了 .....	2、3

削除	
アプリケーションの～	106
不要なファイルの～	109
サスペンド	
～とSave To Disk機能の比較	3
～する前に戻る	2
～するときに休止状態になる	6
室内の電話回線でインターネット	14
終了(操作、作業の)	2、4
ショートカット	119、120
消音(スピーカー)	114
所在地情報	74
署名(メールの)	63
シリアルケーブルで接続する	82
シリアル接続とは	81
受信トレイの見かた	60
受信メールサーバー	31
状態表示LCD	4
「新規にダイヤルアップ接続を行う」	26
<b>す</b>	
スキャンディスクの操作	108
スタートページの設定	43
スタンバイ	2
スピーカーの音量	114
<b>せ</b>	
赤外線通信ポート	81
赤外線デバイス	80
接続(本パソコンの)	
室内の電話回線への～	14
携帯電話への～	14
PHSへの～	15
接続設定(インターネットへの)	
～の確認	66

～の作成	70
～の調整	35
切断する	
Internet Explorerで～	44
Outlook Expressで～	57、58
節電	
～機能の概要	5
時刻になったら～状態から戻す	7
～状態から戻す操作	6
操作をしないと自動的に～する	5
～の標準の設定	5
モデムが電話を受けて元に戻す	7

**そ**

送信トレイの見かた	60
送信メールサーバー	31

**た**

「...待機状態になり...」	4
ダイヤルアップ接続	24
ダイヤルアップネットワーク	24
ダイヤルアップネットワーク接続	56、67
ダイヤル方法	74
タッチパネルの操作	
ホームページを見るとき	43
手書きで文字を入力する	117
ダブルクリックで実行	113

**ち**

チャンネルとは	22
チルダ( )	118

**て**

停止(一時停止)	2
添付ファイル(メールの)	64

データ	
~の交換	83
~のやりとり	83
ディスククリーンアップ	109
デジタル携帯電話	14
「電源の管理」	5、9
電子メール メール	
電池のマーク	8
電話回線への本パソコンの接続	
携帯電話に接続	14
公衆電話に接続	16
室内の電話回線に接続	14
「電話回線を使って接続する」	26

## 【と】

特殊な文字の入力	117
動画ファイルの再生	116
ドメイン名	28
内蔵モデムの動作チェック	66

## 【に】

ニュース( NNTP )サーバー名	34
ニュースグループとは	22
ニュースサーバー名	34

## 【は】

ハードディスク	
~の異常を調べる	108
~の不要なファイルの削除	109
始めかた( 操作、作業の )	3、4
はじめよう!インターネット	23
バイナリ形式	87
バッテリー	
~切れの通知	9
~の残量表示	8

~の充電中の表示	8
パスワード	
インターネットアカウントの~	27、56
メールアカウントの~	32、57
パラレルケーブルで接続する	82
パラレル接続とは	81
ピー、ピーと繰り返し鳴る	9

## 【ふ】

ファイル	
「送り先」機能で開く	120
「ショートカット」で開く	119
~の検索	118
~の転送	83
~の並び替え	119
~をメールに添付	64
復帰( レジューム )する	3
プロバイダ	
~とは	12
への加入	23、24
に加入している場合の接続設定	23、25

## 【ほ】

ホームページ	
~の印刷	49、51
~のオフライン作業	44
~の検索	47
~の表示	41
~の保存	48
~のリンク	43
「ボリューム コントロール」	114

## 【ま】

マイクで録音する	115
----------	-----

マウスポインタ	
~を大きくする .....	111
~の動きをゆっくりにする .....	111
~の軌跡を表示する .....	111
マルチメディアファイル .....	116
無料体験サービス .....	23

【め】

メーリングリストとは .....	22
メール(Eメール、電子メール)	
POP3 ~アカウント .....	31
~アカウント .....	27、32
~アカウントのパスワード .....	32
~アドレス .....	31
~サーバー名 .....	31
受信・送信トレイの見かた .....	60
~とは .....	21
~の作成 .....	54
~の受信 .....	58
~の受信メールの見かた .....	61
~の整理 .....	61
~の送信 .....	55

【も】

モジュラーケーブル .....	14
モデム	
~が機能しているかの確認 .....	65
~の選択(切り替え) .....	38
接続に使用する ~機種名の確認 .....	37

【ゆ】

ユーザーID(接続ID) .....	27
「ユーザー補助」機能を使う .....	112
ユーザー名 .....	27

【り】

リンク .....	43
-----------	----

【れ】

レジューム .....	2、3
-------------	-----

【ろ】

録音する .....	115
ログオン .....	32、57

Microsoft、Windows、MS、MS-DOSは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

InfoWeb は、富士通株式会社の商標です。

K56flex は、Lucent Technologies 社、Rockwell International 社の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 1999

画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

---

FMV-BIBLO 情報生活術入門

B3FH-5152-01-00

発行日 1999年1月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

---

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利については、当社はその責を負いません。

無断転載を禁じます。

落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

© 9901-01

# FUJITSU



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

